OLYMPUS

ボイストレック

VP-20

取扱説明書

準備 1
録音について 2
再生について 3
メニューについて 4
パソコンでの活用について 5
資料 6

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- 失敗のない録音をするために試し録りをしてください。
- ご使用前に必ず「安全に正しくお使いいただくために」(P.124 ～ P.127)をお読みください。
- ファームアップにより機能の追加・変更があった場合は、内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

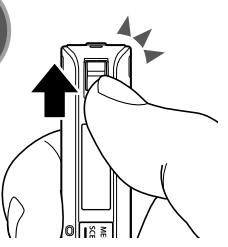
JP

IC レコーダーを活用しよう!

お買い上げいただきありがとうございます。

本機は若者からシニアまで幅広い年齢層にお使いいただける IC レコーダーです。
ビジネスやメモ録など、さまざまなシーンでご活用ください。

活用例

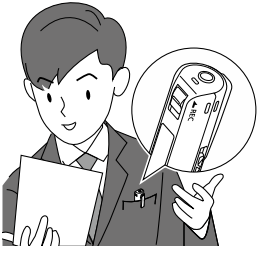


ワンタッチ操作で即録(ソク)音 [ソク録モード]

電源が入っていなくても、REC スイッチをオンにするだけの簡単ワンタッチ操作ですぐに録音が始められます。
さらに瞬時に録音できる［**ソク録モード**］を設定すれば、とっさの録音チャンスも逃しません（☞ P.94）。

ポケットに入れてスマート録音 [録音シーン] > [ポケット]

高音質全指向性マイクを搭載しているので、胸ポケットに入れた状態でもしっかりと録音できます。相手に録音を意識させずに、自然な会話を残せます。
本機を手で持つ必要がないので、録音中も両手が使えて便利です（☞ P.28）。





時間が過ぎたら録音開始 [セルフタイマー]

大事な会議の直前、準備でいっぱいだと録音のことが頭から抜けてしまうことも ･･･。
設定した時間が経過すると録音を開始する［**セルフタイマー**］機能を使えば、「うっかり」を防げます（☞ P.65）。

MP3プレーヤーとして

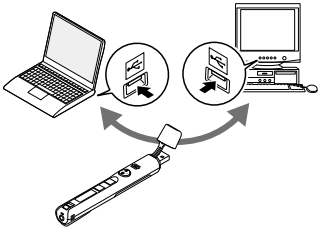
パソコンに接続して本機の MUSIC フォルダに語学学習ファイルや音楽ファイルを転送すれば再生できます（☞ P.110、P.113）。



※ イヤホンは付属していません。

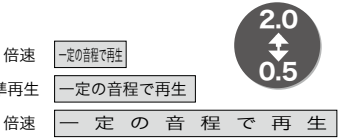
パソコンにダイレクト接続

大容量 USB メモリとして使用可能。パソコン間における画像データなどの受け渡しに使用できます（☞ P.112）。



自分のペースでスピード調整

長時間に渡る会議の内容確認には早聞き再生が、速くて聞き取りにくい外国語の発音は遅聞き再生が役立ちます（☞ P.37）。



ご注意

- お買い上げ時の電池は十分に充電されていません。録音の前には必ず充電してください（☞ P.19）。

本書の表記について

ご注意

本機をご使用になる際の注意事項や絶対に避けていただきたい操作などが書かれています。

ご確認

本機を操作するときに確認していただきたいことなどが書かれています。

ヒント

知っておくと便利なことや役立つ情報などが書かれています。

☞

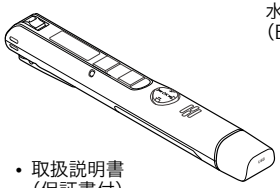
本書での参照先のページを表します。

スタートガイド

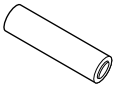
そろっていますか?

箱の中身を確認しましょう

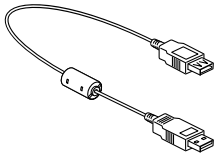
本体



単４形ニッケル水素充電池(BR404)(1 本)



USB 延長ケーブル(KP19)



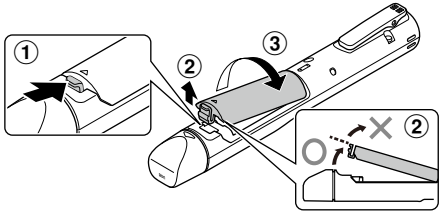
- 取扱説明書(保証書付)

万一、同梱品が不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

準備 1

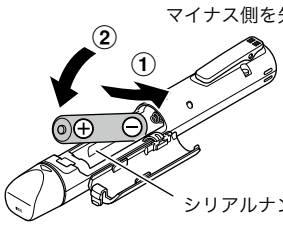
電池を入れましょう

❶ 電池カバーのロック解除ノブを矢印の方向に押しながら、電池カバーを開ける

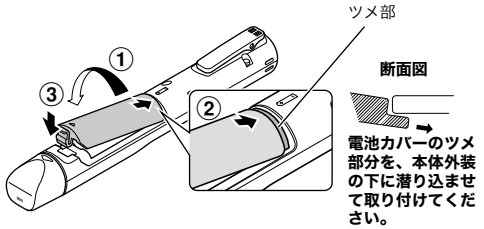


電池カバーは無理に開かないようにしてください。

❷ 電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる



❸ 電池カバーを完全に閉める



シリアルナンバーについて

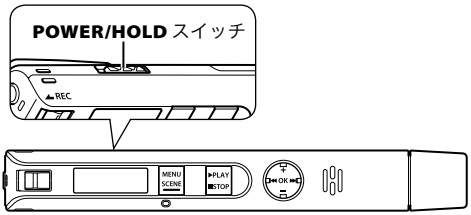
シリアルナンバーは本機の電池室内に記載されているほか、[**システム情報**]（☞ P.104）からも確認できます。巻末の保証書に書き写してください。

ご注意

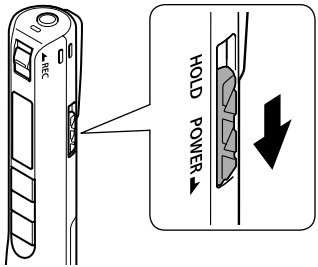
- 電池カバーロックがカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

準備 2

電源を入れましょう



❶ POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる

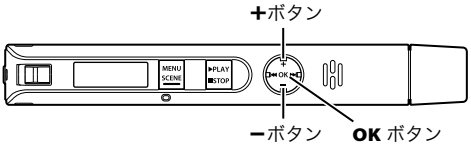


電源を切るには

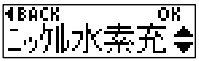
- 電源を切るときは **POWER/HOLD** スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせてください。

準備 3

電池の種類を設定しましょう

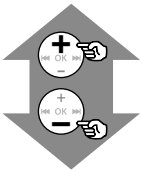


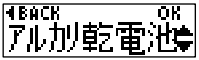
❶ +または−ボタンを押して電池の種類を選ぶ



[ニッケル水素充電池]：(Ni)

付属のオリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）を入れた場合。





[アルカリ乾電池]：(AI)

市販のアルカリ乾電池を入れた場合。

❷ OK ボタンを押して設定を確定する

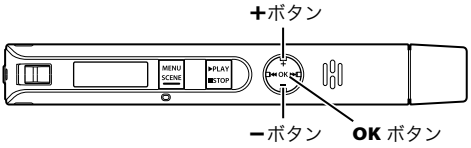
ヒント

- メニュー操作でも同様に電池の設定ができます（☞ P.96）。
- 設定内容を確認する場合は、**OK** ボタンで表示を切り替えて確認できます（☞ P.31、P.41）。

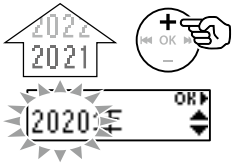
準備 4

日時を合わせましょう

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。



❶ +または−ボタンを押して［年］を選ぶ

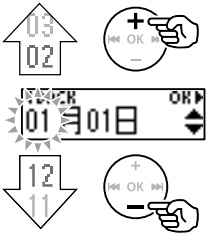


- この画面が表示されない場合は「**日付・時刻を合わせる［時計設定］**」をご覧ください（☞ P.97）。

❷ OK ボタンを押して次へ進む。



❸ +または−ボタンを押して［月］を選ぶ

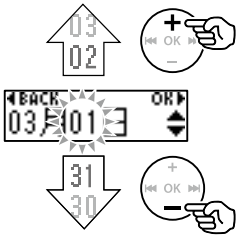


❹ OK ボタンを押して次へ進む



- ⏮ ボタンを押すと１つ前の画面に戻ります。

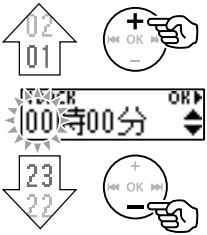
❺ **+**または**−**ボタンを押して［**日**］を選ぶ



❻ **OK** ボタンを押して次へ進む



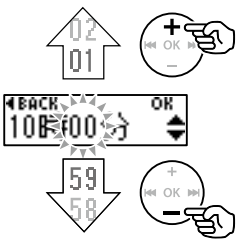
❼ **+**または**−**ボタンを押して［**時**］を選ぶ



❽ **OK** ボタンを押して次へ進む



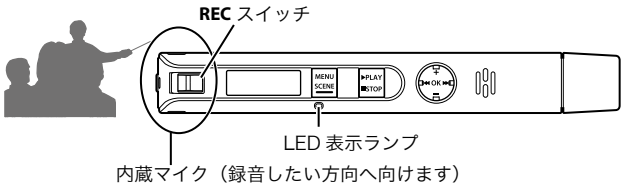
❾ **+**または**−**ボタンを押して［**分**］を選ぶ



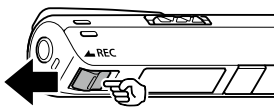
❿ **OK** ボタンを押すと時計が動き始めます

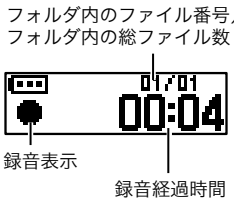
Step 1

録音してみましょう



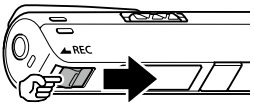
❶ REC スイッチを矢印の方向へスライドさせて、録音を開始する

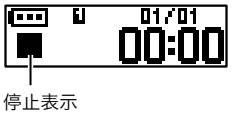




- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに［●］が点灯します。

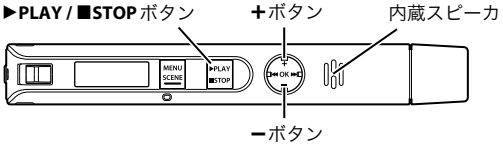
❷ REC スイッチを矢印の方向へスライドさせて、録音を停止する





Step 2

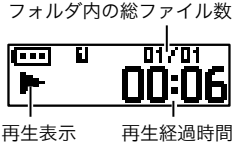
今録音したファイルを 聞いてみましょう



❶ ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する



・内蔵スピーカから音が出ます。



❷ ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする





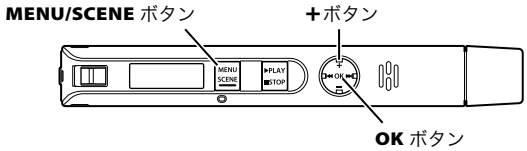
❸ ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を停止する



Step 3

今聞いたファイルを 消してみましょう

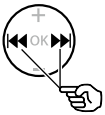
録音および再生を停止させてから行ってください。

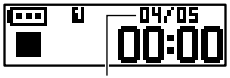


ご注意

- 消去したファイルは元に戻せません。消去の前には確認してください。
- 表示されているファイルが消去されます。

❶ I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して消去するファイルを選ぶ





この番号のファイルが消去されます。消去後は番号が自動的に繰り上がります。

❷ MENU/SCENE ボタンを押す





Step 3

❸ **OK** ボタンを押す





- ⏮ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- 消去操作を中止するときは、▶**PLAY/**■**STOP** ボタンを押します。
- 操作中に 3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。

❹ **OK** ボタンを押す





❺ **OK** ボタンを押す





- 操作中に 8 秒間何も操作しないと 1 つ前の画面に戻ります。

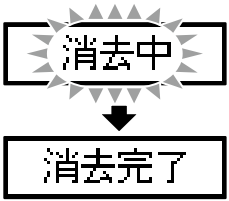
❻ **+**ボタンを押して［**スタート**］を選ぶ





❼ **OK** ボタンを押す





もくじ

ページ　タイトル

2　IC レコーダーを活用しよう！

スタートガイド

4　電池を入れましょう
6　電源を入れましょう
7　電池の種類を設定しましょう
8　日時を合わせましょう
10　録音してみましょう
11　今録音したファイルを聞いてみましょう
12　今聞いたファイルを消してみましょう

1 準備

16　各部のなまえ
16　レコーダー
17　ディスプレイ
19　充電する
20　パソコンの USB 端子に接続して充電する
22　別売りの USB 接続 AC アダプタ（F-5AC）に接続して充電する
23　電池について
24　電源を切る

2 録音について

25　録音する
25　基本的な録音のしかた
27　録音中の音声を聞くには
28　おまかせの録音設定を選ぶ［録音シーン］
29　外部マイクを使って録音する

ページ　タイトル

30　他の機器と接続して録音する
30　他の機器の音声を本機で録音する
30　本機の音声を他の機器で録音する
31　録音時の画面表示を切り替える

3 再生について

32　再生する
32　基本的な再生のしかた
33　早送りをするには
33　早戻しをするには
34　ファイルの頭出しをするには
35　イヤホンで聞くには
36　おまかせの再生動作を選ぶ［再生シーン］
37　再生スピードを変更する［早聞き・遅聞き］
38　インデックスマーク・テンプマークを付ける
40　誤操作を防止する［ホールド］
41　停止時・再生時の画面表示を切り替える
42　録音した日付でファイルを探す［日付検索］
44　消去する［ファイル消去］

4 メニューについて

46　メニュー設定のしかた
46　基本的な操作のしかた
48　メニューの一覧
53　ファイルメニュー［ファイル編集］
53　ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］

ページ タイトル

55 ファイルを分割する［ファイル分割］
57 ファイルの情報を見る［プロパティ］

59 録音メニュー［録音設定］
59 録音感度を選択する［録音レベル］
61 録音モードを設定する［録音モード］
63 摩擦による雑音を軽減して録音する［擦れ音フィルタ］
65 設定時間の経過後に録音を開始する［セルフタイマー］
67 ノイズを軽減して録音する［ローカットフィルタ］
68 音声起動録音機能を使う［VCVA］

70 再生メニュー［再生設定］
70 ノイズを軽減して再生する［ノイズキャンセル］
72 小さい音を補正して再生する［ボイスバランサー］
74 ファイルを再生する範囲を指定する［再生範囲］
76 繰り返し再生する［リピート］
78 スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］
80 再生するフォルダを切り替える［再生フォルダ］

83 表示／音メニュー［表示／音設定］
83 バックライトを設定する［バックライト］
84 コントラストを調整する［コントラスト］
85 LED 表示ランプを設定する［LED］
86 操作音を設定する［操作音］
87 表示言語を切り替える［言語選択 (Lang)］
88 スピーカ出力を選択する［スピーカ出力］
89 ファイルの先頭部分を数秒間再生する［イントロ再生］

90 本体メニュー［本体設定］
90 マイク / イヤホンジャックの設定を切り替える［ジャック選択］
92 自動的に電源が切れるようにする［オートパワーオフ］

ページ タイトル

94 録音待機の時間を設定する［ソク録モード］
96 使用する電池を設定する［電池設定］
97 日付・時刻を合わせる［時計設定］
100 設定をリセットする［設定リセット］
101 初期化する［初期化］
103 内蔵メモリの情報を確認する［メモリ情報］
104 本機の情報を確認する［システム情報］

5 パソコンでの活用について

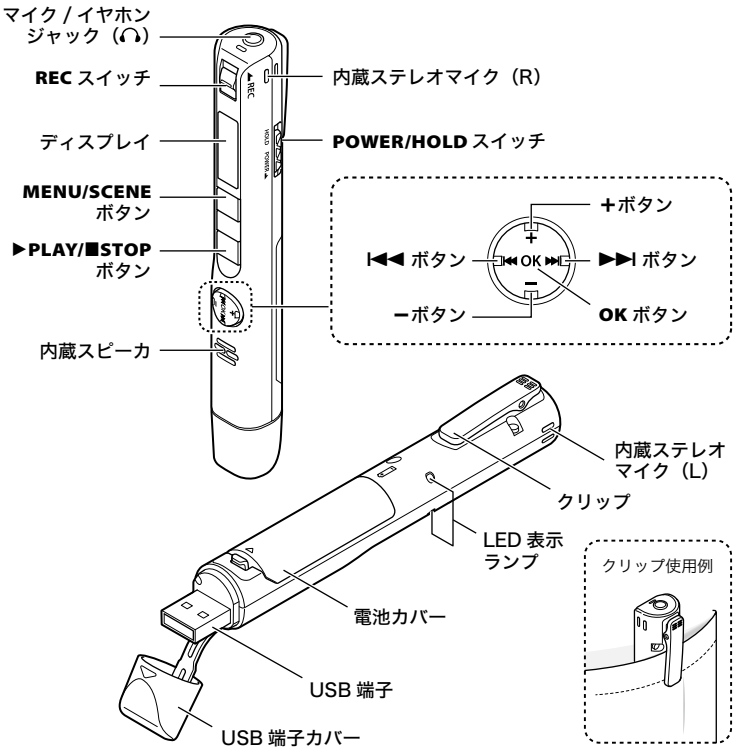
105 パソコンの動作環境
107 パソコンに接続する／取り外す
107 パソコンに接続する
109 パソコンから取り外す
110 ファイルをパソコンに取り込む
112 パソコンの外部メモリとして使う
113 パソコンから転送したファイルを聞く

6 資料

115 活用のヒント
117 警告表示一覧
119 故障かな？と思ったら
122 その他
122 お手入れ
122 アクセサリー（別売）
123 商標について
124 安全に正しくお使いいただくために
128 主な仕様
132 索引

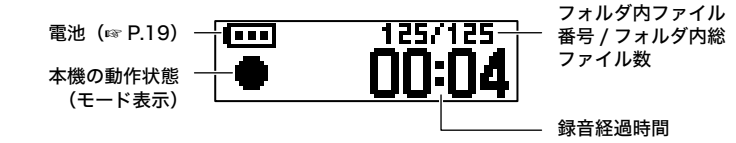
各部のなまえ

レコーダー

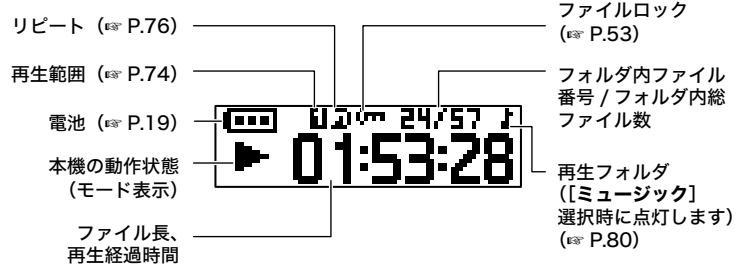


ディスプレイ

■録音時



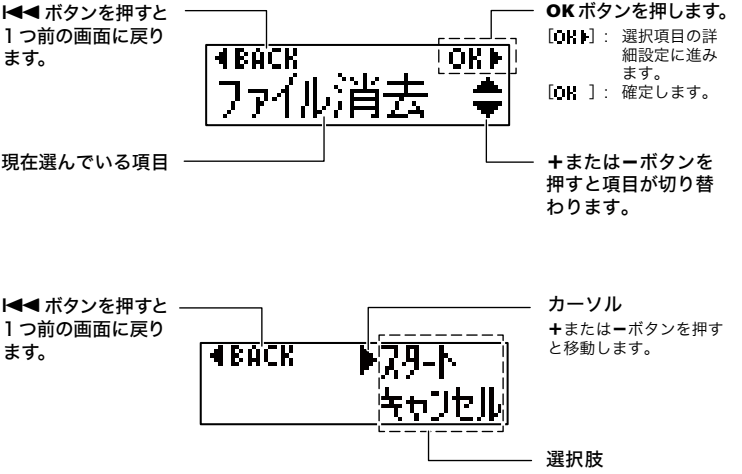
■停止時、再生時



本機の動作状態（モード表示）について								
●	録音	（☞ P.25）	▶	再生	（☞ P.32）	◀◀	早戻し	（☞ P.33）
VCVA	VCVA 録音待機中	（☞ P.69）	❚❚	一時停止	（☞ P.32）	▶F	早聞き再生	（☞ P.37）
■	停止	（☞ P.25）	▶▶	早送り	（☞ P.33）	▶S	遅聞き再生	（☞ P.37）

ディスプレイ

■メニュー時のガイド表示について



充電する

付属のニッケル水素充電池（BR404）を充電するときは、本機とパソコンを USB 接続するか、別売りの USB 接続 AC アダプタ（F-5AC）を使います。
充電を始める前に、以下をよくお読みください。

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のように変わります。



- ［ ］が表示されたら、電池残量が残りわずかです。充電するか新しい電池に交換してください。電池残量がなくなると、［ ］と［**電池残量少**］が表示され、動作が停止します。

ご確認

- 充電の際は付属のニッケル水素充電池を入れ(☞ P.4)、［**電池設定**］の設定を［**ニッケル水素充電池**］（☞ P.7）にしてください。

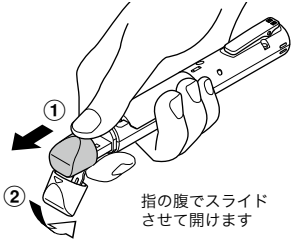
ご注意

- アルカリ乾電池やリチウム乾電池などの一次電池を充電しないでください。液漏れ、発熱など本機の故障の原因となります。
- ［ ］*1 または［ ］*2 が表示されている場合は充電できません。周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  *1［ ］:周囲の温度が低い場合
  *2［ ］:周囲の温度が高い場合
- 電池を満充電しても寿命が著しく短くなってきたときは、新しい電池と交換してください。
- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていないと正常に動作しません。

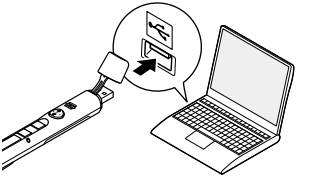
パソコンの USB 端子に接続して充電する

1 パソコンを起動する

2 本機の USB 端子カバーを外す



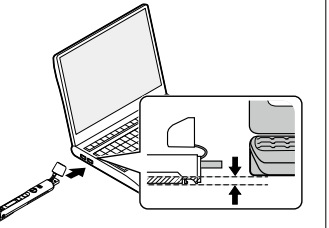
3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する



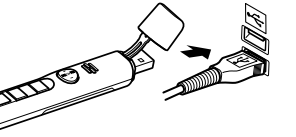
ご注意

- ご使用のパソコンが以下のような場合は、付属の USB 延長ケーブルを使用してください。

パソコンの底面よりも本機が低くなる場合



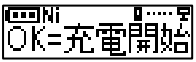
USB ポートの間隔が狭い場合



- 無理な接続はおやめください。データの転送が正しく行われない場合があるだけでなく、本体が破損するおそれがあります。

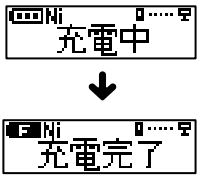
パソコンの USB 端子に接続して充電する

4 OK ボタンを押して充電を開始する



- この表示が点滅中に **OK** ボタンを押してください。
- 充電中は LED 表示ランプが点灯します。

5 [充電完了] と表示されたら充電は終了です



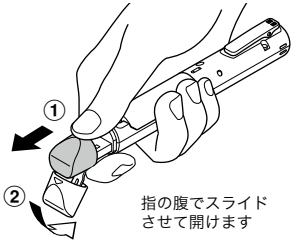
- 充電は約 3 時間で終了します。詳しくは「**充電池について**」(☞ P.23) をご覧ください。

ご注意

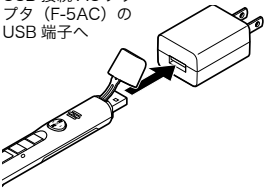
- パソコンの電源が入っているときにＵＳＢ接続して充電をしてください。パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合は充電できません。
- パソコンと接続して充電するときは USB ハブを使用しないでください。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

別売りの USB 接続 AC アダプタ（F-5AC）に接続して充電する

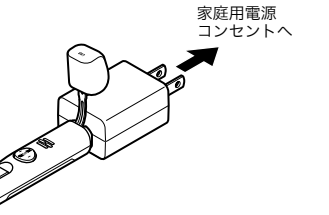
1 本機の USB 端子カバーを外す



2 本機を AC アダプタの USB 端子に接続する



3 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する



4 **OK** ボタンを押して充電を開始する



- この表示が点滅中に **OK** ボタンを押してください。
- 充電中はLED表示ランプが点灯します。

5 ［充電完了］と表示されたら充電は終了です

- 充電は約 3 時間で終了します。詳しくは「**充電池について**」（☞ P.23）をご覧ください。

ご注意

- オリンパス製 USB 接続 AC アダプタ（F-5AC）以外の AC アダプタを使用しないでください。

電池について

充電池について

ニッケル水素充電池（BR404）をご使用の際には以下をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃

充電：5 ～ 35℃

長期保管：− 20 ～ 30℃

■ 充電時間：

約 3 時間

室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。充電時間は電池の残量や充電の状態などにより変化します。

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合は、液漏れ・さびを防ぐために充電池を取り外して保管してください。

ご使用済みの充電池は**「充電式電池の廃棄について」**（☞ P.126）にしたがって廃棄してください。

ご注意

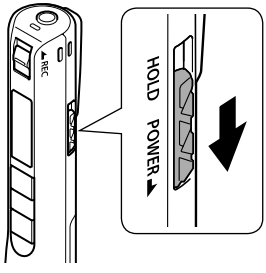
- マンガン乾電池は本機で使用できません。
- 電池交換の際は、単 4 形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池 BR404 をご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。
- 電池を交換したときは自動的に［**電池設定**］画面が表示されます。メニュー操作でも同様に電池の設定ができます（☞ P.96）。電池を交換後は、必ず電源を入れて［**電池設定**］画面および［**日時設定**］画面の設定を済ませてから録音してください。
- 本機から電池を抜いた状態が 1 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、日時の設定が必要になる場合があります。詳しくは**「日付・時刻を合わせる［時計設定］」**（☞ P.97）をご覧ください。
- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされないことがあります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 電池を交換する際は、本機の電源を切ってから電池を交換してください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが破損する場合があります。
- 電池表示が［▭］であっても内蔵スピーカで再生すると音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合は、音量を下げてご使用ください。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します（☞ P.129）。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電池は劣化により電池持続時間が短くなります（☞ P.129）。

電源を切る

電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

1 POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

- 電源を切る前の再生停止位置が記憶されています。



ヒント

- 使用していないときは、電源をこまめに切ると電池の消耗を最小限に抑えられます。

オートパワーオフについて

電源を入れて 5 分以上（初期設定）停止状態が続くと、ディスプレイ表示が消え、自動的に電源が切れます（☞ P.92）。

- 再び使用するときは、電源を入れてください（☞ P.6）。

ご注意

- 録音中は **POWER/HOLD** スイッチを操作しても電源が切れません。
- ［**ソク録モード**］機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり電池の消耗が早くなります。［**ソク録モード**］の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります（☞ P.94）。

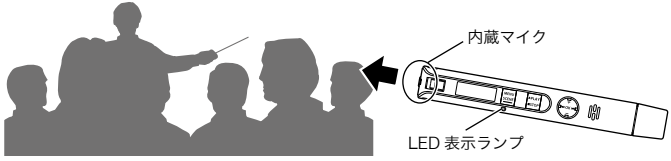
録音について

録音する

突然の録音機会でも、電源オフの状態からワンタッチで録音できます。最大で 999 件の録音が可能です。

基本的な録音のしかた

1 録音したい方向に内蔵マイクを向ける



2



REC スイッチを矢印の方向にスライドさせて録音を開始する



録音表示（モード表示）

- LED 表示ランプが点灯し、ディスプレイに［●］が点灯します。

ヒント

- 電池を交換後は、必ず電源を入れて［**電池設定**］画面および［**日時設定**］画面の設定を済ませてから録音してください。
- 冒頭部分に簡単な録音内容を記録しておくと、あとで［**日付検索**］機能を使って検索するときに便利です（☞ P.42）。

3



REC スイッチを矢印の方向にスライドさせて録音を停止する



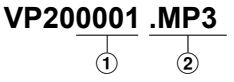
- ディスプレイに［■］が点灯します。

ヒント

- **▶PLAY/■STOP** ボタンを押しても録音は停止しません。

基本的な録音のしかた

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名が付けられます。



①ファイル番号：

ファイル番号は連続して付けられます。

②拡張子：

本機で録音した場合の録音モード（録音形式）の拡張子です。

- リニア PCM 形式：「**.WAV**」
- MP3 形式：「**.MP3**」

ヒント

- ポケットなどに入れて録音する場合は、本体が動かないようにクリップで固定してください。
- ［**ミュージック**］フォルダ内のファイルを再生中に、録音をスタートしても、録音したファイルは［**レコーダー**］フォルダに保存されます（☞ P.80）。

ご注意

- 録音の頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイルフル**］と表示された場合、これ以上録音できません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.44、P.117）。
- ［**メモリフル**］と表示された場合、容量がありません。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.44、P.117）。
- 内蔵メモリは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は内蔵メモリを初期化してください（☞ P.101）。

2GB を超えるリニア PCM 形式の録音について

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

- ファイルは 2GB ごとに分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 999 件目のファイルが 2GB を超えると、録音が停止します。

録音に関する設定

録音状況に合わせてさまざまな設定ができます。

[録音レベル] (☞ P.59)	録音感度を設定します。
[録音モード] (☞ P.61)	録音時の音質を設定できます。
[セルフタイマー] (☞ P.65)	設定した時間が経過すると録音を開始します。
[擦れ音フィルタ] (☞ P.63)	ポケットに入れたまま録音するときに、衣服などのこすれ音 * を軽減します。
[ローカットフィルタ] (☞ P.67)	エアコンの空調音やプロジェクターなどの動作音を低減できます。
[VCVA] (☞ P.68)	音声起動録音（VCVA）の起動レベルを設定できます。
[録音シーン] (☞ P.28)	録音する場面や状況に合わせた録音設定に一括で切り替えます。

* ポケットなどに入れて録音する場合は、本体が動かないようにクリップで固定してください。

録音中の音声を聞くには

市販のイヤホンを本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）に差し込むと、録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は**+**または**−**ボタンで調節できます。

- イヤホンは付属していません。

1 本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）にイヤホンを接続する



マイク / イヤホンジャックへ

- 録音中に音量を変えても録音レベルは変化しません。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 録音中はハウリングをおこしますので、イヤホンをマイクに近づけないでください。
- 録音中にイヤホンを使用すると電池の消耗が早くなります。電池の消耗を抑えたいときは、イヤホンを接続しないでください。
- 録音中の音声をイヤホンで聞く場合、［**擦れ音フィルタ**］（☞ P.63）が有効になっていると、エコーがかかったように聞こえることがあります。
- イヤホンを接続しても音声が聞こえないときは、［**ジャック選択**］の設定を［**イヤホン**］にしてください（☞ P.90）。

おまかせの録音設定を選ぶ［録音シーン］

本機には会議や商談など録音する状況に合わせた最適な設定が、あらかじめ数種類登録されています。状況に応じたおすすめの設定に一括で切り替わります。

［ポケット］	ﾎﾟｹｯﾄ	ポケットに入れたまま広範囲の音声を録音するときに適しています。
［メモ］	ﾒﾓ	自分の声など、ごく近い音声の録音に適しています。
［会議］	ｶｲｷﾞ	広いスペースでの会議など、広範囲の音声を録音するときに適しています。
［商談］	ｼｮｳﾀﾞﾝ	小スペースでの打ち合わせなど、やや近い音声を録音するときに適しています。

- 各録音シーンの設定内容については、「**録音シーンに登録されている設定内容**」（☞ P.49）をご覧ください。

1 MENU SCENE

停止中に**MENU/SCENE**ボタンを0.5秒以上押す



2 OK

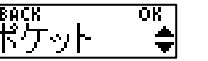
OK ボタンを押す

- I◀◀ ボタンを押すと１つ前の画面に戻ります。



3 + OK −

＋または－ボタンを押して各録音シーンを選ぶ



4 OK

OK ボタンを押して設定を完了する



5 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定との併用ができません。これらの機能をご使用になる場合は［**録音シーン**］の設定が自動的に［**OFF**］になります。

外部マイクを使って録音する

本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）に外部マイクを接続し、音声を録音できます。

1 本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）に外部マイクを接続する



2 録音を開始する

- 録音に関する操作は「**録音する**」（☞ P.25）をご覧ください。

ヒント

- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- ご使用いただける外部マイクは「**アクセサリー（別売）**」（☞ P.122）をご覧ください。

ご注意

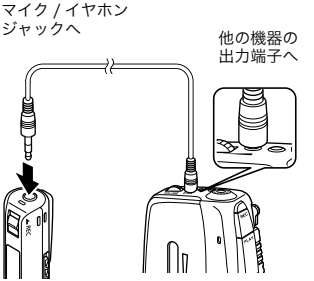
- [**ジャック選択**] の設定が [**イヤホン**] になっていたり、[**オート**] でも接続した外部マイクが正常に検出されないときは、[**マイク**] に設定してください（☞ P.90）。
- [**録音モード**] の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.61）。
- [**録音モード**] の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.61）。

他の機器と接続して録音する

他の機器の音声を本機で録音する

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、他の機器の音声を録音できます。

- あらかじめ［**ジャック選択**］の設定を［**マイク**］にしてください（☞ P.90）。



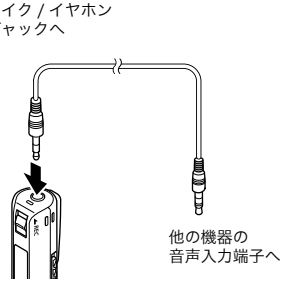
ご注意

- 外部機器を接続する場合、試し録りをして外部機器の出力レベルを調整してください。

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機のマイク / イヤホンジャック（🎧）をダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

- あらかじめ［**ジャック選択**］の設定を［**イヤホン**］にしてください（☞ P.90）。



ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、マイク / イヤホンジャック（🎧）から出力される音声出力信号も変化します（☞ P.70、P.72）。

録音時の画面表示を切り替える

録音中の画面表示を切り替えられます。

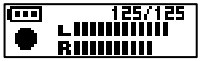
1 録音中に **OK** ボタンを押す

- **OK** ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

① 録音経過時間表示（初期設定）
録音経過時間とファイル番号を確認できます。



② 録音レベルメータ表示
録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します。



③ 機能アイコン表示
現在使用している機能のアイコン、および録音可能残り時間を確認できます。



④ 日時表示
現在の日時を確認できます。



機能アイコンについて					
Ni	使用中の電池の種類	(☞ P.96)		ローカットフィルタ	(☞ P.67)
	ジャック選択	(☞ P.90)		擦れ音フィルタ	(☞ P.63)
	録音可能残り時間		128	録音モード	(☞ P.61)
	ノイズキャンセル	(☞ P.70)	カイギ	録音シーン	(☞ P.28)
	ボイスバランサー	(☞ P.72)		再生シーン	(☞ P.36)
	録音レベル	(☞ P.59)			

ご注意

- 画面表示は動作（停止、再生、録音）を切り替えると初期設定に戻ります。

再生について

再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送したリニア PCM（WAV）、MP3 形式のファイルが再生できます。パソコンから転送した音楽ファイルや語学学習ファイルを聞くには「**パソコンから転送したファイルを聞く**」（☞ P.113）をご覧ください。

基本的な再生のしかた

1 

▶▶I または I◀◀ ボタンを押して、再生するファイルを選ぶ



ファイル長

ヒント

- ファイル選択後、3 秒間ファイル長を表示します。
- 録音日時でファイルを探せます（☞ P.42）。

2 

▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する

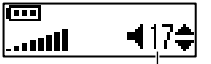


再生表示（モード表示）

- ディスプレイに［▶］が点灯します。
- 再生スピードを変更していると、再生開始時に 2 秒間現在の設定が表示されます。

3 

＋またはーボタンを押して聞きやすい音量にする



音量

- イヤホン使用時に音量を規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。

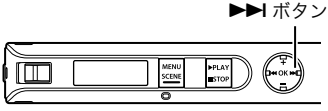
4 

▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を停止する



- ディスプレイに［❚❚］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

早送りをするには

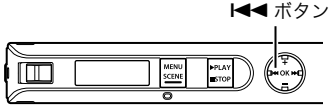


再生中の早送り

1 再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける

- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.38）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには



再生中の早戻し

1 再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.38）。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

次のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に ▶▶| ボタンを押す

現在のファイルの頭出し

1 停止中または再生中に |◀◀ ボタンを押す

1 つ前のファイルの頭出し

1 ファイルの先頭位置で |◀◀ ボタンを押す

- 再生中に 1 つ前のファイルにスキップするときは、2 回連続して |◀◀ ボタンを押してください。

ヒント

- 停止中に |◀◀ または ▶▶| ボタンを押し続けると、連続してファイルをスキップします。

ご注意

- 再生中のファイルを頭出しする場合、途中にインデックスマークやテンプマークがあると、その位置から再生を開始します。停止中はマークを飛ばして頭出しを行います（☞ P.38）。
- [**スキップ間隔**] が [**ファイル スキップ**] 以外に設定されている場合、再生中は設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。頭出しにはなりません（☞ P.78）。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[ノイズキャンセル] * **(☞ P.70)**	プロジェクターなどの動作音により音声が聞き取りにくいときに設定してください。
[ボイスバランサー] * **(☞ P.72)**	録音した音声ファイルの音量が小さい部分を補正して再生します。
[再生範囲] (☞ P.74)	1 ファイルごとに再生する、またはフォルダ内の全ファイルの連続再生するかを選べます。
[リピート] (☞ P.76)	[**再生範囲**] で選択した範囲を繰り返して再生できます。
[スキップ間隔] (☞ P.78)	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときに便利です。
[再生シーン] (☞ P.36)	用途に応じたおすすめの設定に一括で切り替えます。繰り返し再生の操作性が向上します。
[再生フォルダ] (☞ P.80)	[**レコーダー**] フォルダや [**ミュージック**] 内の他のフォルダへ切り替えたいときに使用します。

* [**レコーダー**] フォルダ内のファイルを選んでいるときのみ機能します (☞ P.80)。

イヤホンで聞くには

本機のマイク / イヤホンジャック (🎧) にイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンは付属していません。

1 本機のマイク / イヤホンジャック (🎧) にイヤホンを接続する



マイク / イヤホンジャックへ

2 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

⚠ 注意

再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を [**00**] にしてからイヤホンを入れてください。
- イヤホン使用時に音量を規定以上にすると、警告画面が表示される場合があります。
- イヤホンを接続しても音声が聞こえないときや、外部スピーカで再生するときは [**ジャック選択**] の設定を [**イヤホン**] にしてください (☞ P.90)。

おまかせの再生動作を選ぶ［再生シーン］

進む・戻るを繰り返しても、誤ってファイルの先頭や末端になってしまうことがありません。早聞き・遅聞き機能も同時に使用できます。

［文字起こし］	会議やインタビューなど、複数の音声が収録された音声ファイルの内容を文章化して議事録や書面に書き起こすときに便利です。
［語学学習］	会話や語学学習ファイルの内容を何度も繰り返して再生するときに便利です。

- 各再生シーンの設定内容については、**「再生シーンの操作ボタン設定内容」**（☞ P.50）をご覧ください。

1 MENU SCENE **停止中に MENU/SCENE ボタンを0.5秒以上押す**

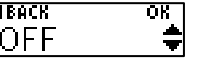


2 + OK − **＋または－ボタンを押して［再生シーン］を選ぶ**

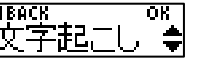


3 OK **OK ボタンを押す**

- ⏮ ボタンを押すと1つ前の画面に戻ります。



4 + OK − **＋または－ボタンを押して各再生シーンを選ぶ**



5 OK **OK ボタンを押して設定を完了する**



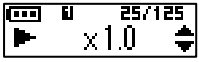
6 ▶PLAY ■STOP **▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する**

再生スピードを変更する［早聞き・遅聞き］

再生スピードを変更できます。再生スピードは会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするときに便利です。

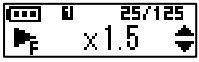
1 ▶PLAY/■STOP

再生中に▶**PLAY/■STOP**ボタンを0.5秒以上押す



2 +/− OK

＋または－ボタンを押して再生スピードを選ぶ



- 再生スピードの設定は× 0.5 倍速（遅聞き再生）～× 1.0 倍速（通常再生）～× 2.0 倍速（早聞き再生）まで 0.1 倍速刻みで選べます。

3 + OK −

OK ボタンを押して設定を完了する



再生スピード表示
早聞き再生：
遅聞き再生：

ヒント

- 通常の再生スピードに戻すには、［**x 1.0**］に設定してください。

ご注意

- 電源を切っても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。
- 再生スピードを変更すると電池の消耗が早くなります。
- 再生スピード変更すると［***ノイズキャンセル***］(☞ P.70）機能は使用できません。

早聞き再生の制限事項について

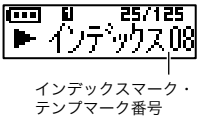
再生ファイルのサンプリングレートやビットレートによっては、正常に動作しないことがあります。その場合は、再生スピードを落として再生してください。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

インデックスマークやテンプマークを付けると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機で作成したファイルにはインデックスマークが付けられます。他のオリンパス製レコーダーで作成されたファイルではインデックスマークが付けられないことがあります。インデックスマークが付けられないファイルにはテンプマークをが付けられます。またオリンパス製以外の機器で作成されたファイルにはテンプマークが付けられます。インデックスマークは録音中、再生中、停止中に付けられます。

1 

インデックスマーク・テンプマークを付ける位置で、**OK** ボタンを 0.5 秒以上押す



インデックスマーク・テンプマーク番号

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 

消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選び、再生を開始する



2 

▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



3 

ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**OK** ボタンを 0.5 秒以上押す



- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

インデックスマーク・テンプマークを付ける

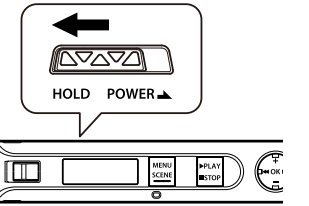
ご注意

- インデックスマーク・テンプマークは 1 つのファイル内に最大で 99 件まで付けることができます。99 件を超えてインデックスマーク・テンプマークを付けようとすると［**インデックスフル**］と表示されます。
- ファイルロック（☞ P.53）をかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークを付けたり消去することができません。
- テンプマークは一時的なマーキングです。他のファイルへ切り替えたり、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- 本機で作成したファイルをパソコンで再生などを行うと、インデックスマークを付けられなくなることがあります。

誤操作を防止する［ホールド］

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので持ち運びに便利です。

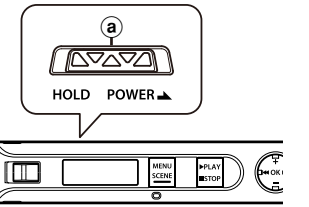
1 POWER/HOLD スイッチを［HOLD］の位置にスライドさせる



- ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。
- ホールド状態でも、録音スイッチのオン・オフは動作します。

ホールドを解除する

1 POWER/HOLD スイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる



ご注意

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、［**ホールド**］表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
- 再生中にホールドにすると、再生状態のまま操作ができなくなります（再生が終了すると停止状態になります）。

停止時・再生時の画面表示を切り替える

停止中および再生中の画面表示を切り替えられます。

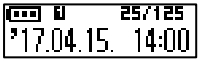
1 停止中または再生中に **OK** ボタンを押す

- **OK** ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

① 再生経過時間表示（初期設定）
再生経過時間とファイル番号を確認できます。



② 録音日時表示（レコーダーフォルダ選択時）
録音した日時を確認できます。



ファイル名表示（ミュージックフォルダ選択時）
ファイル名を確認できます。



③ 機能アイコン表示
現在使用している機能のアイコン、および録音可能残り時間を確認できます（☞ P.31）。



④ 日時表示
現在の日時を確認できます。



ご注意

- 画面表示は動作（停止、再生、録音）を切り替えると初期設定に戻ります。

録音した日付でファイルを探す［日付検索］

録音した日付から音声ファイルを検索でき大変便利です。

ご注意

- 検索できるファイルは［**レコーダー**］フォルダ内のファイルのみです。

1 MENU SCENE 停止中に**MENU/SCENE**ボタンを0.5秒以上押す

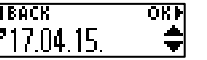


2 ＋または－ボタンを押して［**日付検索**］を選ぶ



3 OK **OK** ボタンを押す

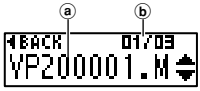
4 ＋または－ボタンを押して録音した日を選ぶ



・録音が行われた日付をすべて表示します。この中から探している日付を選びます。

5 OK **OK** ボタンを押す

6 +またはーボタンを押して録音したファイルを選ぶ



ⓐ ファイル名
ⓑ ファイル番号 / 選択した日付に登録されているファイル件数

ヒント

- ファイルを選択するたびにファイルの先頭部分が 10 秒間自動的に再生され、選んだファイルの内容が確認できます。
  自動的に再生しないようにするには、［**イントロ再生**］の設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.89）。

7 OK ボタンを押すと再生が始まります

ご注意

- 日付検索するには、あらかじめメニュー機能の［**日時設定**］の設定を済ませておく必要があります（☞ P.97）。

消去する［ファイル消去］

フォルダ内のファイルを消去します。また、フォルダ内のすべてのファイルを消去できます。

ご注意

- 録音および再生を停止させてから行ってください。
- 消去したファイルは元に戻せません。消去の前には十分確認してください。

1 

▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ（☞ P.32、P.113）



この番号のファイルが消去されます。消去後は番号が自動的に繰り上がります。

2 

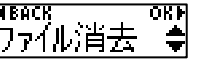
停止中に MENU/SCENE ボタンを押す



3 

OK ボタンを押す

- 操作中に 3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。



4 

再度 OK ボタンを押す

5 **＋またはーボタンを押して［1 ファイル消去］または［フォルダ内消去］を選ぶ**

［**1 ファイル消去**］：
選択したファイルを消去します。

［**フォルダ内消去**］：
選択したファイルが保存されているフォルダ内のファイルをすべて消去します。



6 **OK ボタンを押す**

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと 1 つ前の画面に戻ります。

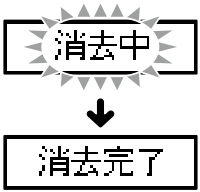


7 **＋ボタンを押して［スタート］を選ぶ**



8 **OK ボタンを押す**

- ディスプレイが［**消去中**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。



ご注意

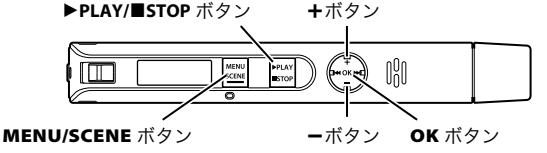
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.53）。
- 本機で認識できないファイルは消去できません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理中に電池が切れることのないように充電するか、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。処理中は電池を取り外さないでください。

メニューについて

メニュー設定のしかた

基本的な操作のしかた

メニュー内は［**ファイル編集**］、［**録音設定**］、［**再生設定**］、［**表示／音設定**］、［**本体設定**］の 5 つの設定メニューに分けられています。



1 MENU SCENE

録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



ヒント

- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください（☞ P.52）。

2 ＋ ⏮ OK ⏭ －

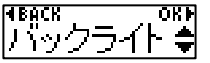
＋または－ボタンを押して設定したい項目が含まれている設定メニューを選ぶ



3 ＋ ⏮ OK ⏭ －

OK ボタンを押す

- 各種設定項目が表示されます。

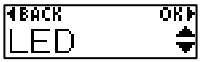


ヒント

- ⏭ ボタンを押しても操作できます。
- ⏮ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

基本的な操作のしかた

4 **+**または**−**ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



5 **OK** ボタンを押す



6 **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。



8 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合は、**MENU/SCENE** ボタンを押してメニュー画面を終了します。

ご注意

- 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないと録音または再生途中に戻ります。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー：

選択肢欄の ■ 表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
ファイル編集 [File Menu]	**ファイル消去** [File Erase] ☞ P.44	ファイルを消去します。 [**1 ファイル消去**] [**フォルダ内消去**]
	ファイルロック [File Lock] ☞ P.53	ファイルの誤消去を防ぎます。 [**ON**] [**OFF**]
	ファイル分割 [File Divide] ☞ P.55	本機で録音したファイル（PCM、MP3）を分割できます。
	プロパティ [Property] ☞ P.57	選んだファイルの情報を確認できます。 [**名前**] [**日時**] [**サイズ**] [**ビットレート**] [**アーティスト**] [**アルバム**]

■ 録音に関するメニュー：

選択肢欄の　　表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
録音設定 [Rec Menu]	**録音レベル** [Rec Level] ☞ P.59	[**オート**] [**高（会議）**] [**低（メモ）**]
	録音モード [Rec Mode] ☞ P.61	[**PCM**] [**MP3 128k ST**] [**MP3 32k Mono**] [**MP3 8k Mono**]
	擦れ音フィルタ [Anti-Rustle] ☞ P.63	[**HIGH**] [**LOW**] [**OFF**]
	セルフタイマー [Self Timer] ☞ P.65	[**OFF**] [**3 分**] [**5 分**] [**10 分**]
	ローカットフィルタ [Low Cut Filter] ☞ P.67	[**ON**] [**OFF**]
	VCVA [VCVA] ☞ P.68	[**ON**] [**OFF**]
	録音シーン [Rec Scene] ☞ P.28	[**ポケット**] [**メモ**] [**会議**] [**商談**] [**OFF**]

録音シーンに登録されている設定内容

	ポケット	メモ	会議	商談
[録音レベル]	[**超高感度**] ***1**	[**低**] ***2**	[**オート**]	[**高（会議）**]
[録音モード]	[**MP3 128k ST**]	[**MP3 128k ST**]	[**MP3 128k ST**]	[**MP3 128k ST**]
[擦れ音フィルタ]	[**HIGH**]	[**OFF**]	[**OFF**]	[**LOW**]
[ローカットフィルタ]	[**OFF**]	[**ON**]	[**ON**]	[**OFF**]

***1** 録音レベルが［**高（会議）**］よりも高い［**超高感度**］は、録音シーンの［**ポケット**］限定の設定です。
***2** 録音レベルが［**低（メモ）**］よりも低い［**低**］は、録音シーンの［**メモ**］限定の設定です。

■ 再生に関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
再生設定 [Play Menu]	**ノイズキャンセル** * [Noise Cancel] ☞ P.70	[**HIGH**] [**LOW**] [**OFF**]
	ボイスバランサー * [Voice Balancer] ☞ P.72	[**ON**] [**OFF**]
	再生範囲 [Playback Range] ☞ P.74	[**レコーダー**]： [**ファイル**] [**フォルダ**] [**ミュージック**]： [**ファイル**] [**フォルダ**]
	リピート [Repeat] ☞ P.76	[**レコーダー**]： [**ON**] [**OFF**] [**ミュージック**]： [**ON**] [**OFF**]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.78	[**スキップ**]： [**ファイル スキップ**] [**30 秒 スキップ**] [**5 分 スキップ**] [**逆スキップ**]： [**ファイル スキップ**] [**3 秒 スキップ**] [**30 秒 スキップ**] [**5 分 スキップ**]
	再生シーン [Play Scene] ☞ P.36	[**文字起こし**] [**語学学習**] [**OFF**]
	再生フォルダ [Play Folder] ☞ P.80	[**レコーダー**] [**ミュージック**]

* [**レコーダー**] フォルダ内のファイルを選んでいるときのみ機能します（☞ P.80）。

再生シーンの操作ボタン設定内容

	[文字起こし]	[語学学習]
■STOP (停止)	**オートバックスペース * (3 秒)**	**停止**
►►I (早送り)	**2.0 倍速再生**	**2.0 倍速再生**
I◄◄ (早戻し)	**早戻し**	**早戻し**
►►I (スキップ)	**[10 秒スキップ]**	**[10 秒スキップ]**
I◄◄ (逆スキップ)	**[3 秒スキップ]**	**[3 秒スキップ]**
[ボイスバランサー]	**[ON]**	**[OFF]**

* 再生中に **►PLAY/■STOP** ボタンを押すと、押した位置から 3 秒戻って停止します。

■ ディスプレイや音に関するメニュー：

選択肢欄の 表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
表示／音設定 [LCD/Sound]	**バックライト** [Backlight] ☞ P.83	[**5 秒**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**OFF**]
	コントラスト [Contrast] ☞ P.84	[**01**] ～ [**06**] ～ [**12**]
	LED [LED] ☞ P.85	[**ON**] [**OFF**]
	操作音 [Beep] ☞ P.86	[**ON**] [**OFF**]
	言語選択 (Lang) [Language] ☞ P.87	[**日本語**] [**English**]
	スピーカ出力 [Speaker] ☞ P.88	[**ON**] [**OFF**]
	イントロ再生 [Intro Play] ☞ P.89	[**ON**] [**OFF**]

■ 本機に関するメニュー：

選択肢欄の　表記は初期設定です

設定メニュー	設定項目	選択肢 / 内容
本体設定［Device］	**ジャック選択**［Select Jack］☞ P.90	［**オート**］［**マイク**］［**イヤホン**］
	オートパワーオフ［Power Off］☞ P.92	［**5 分**］［**10 分**］［**15 分**］［**30 分**］［**OFF**］
	ソク録モード［Rec Standby］☞ P.94	［**1 時間**］［**3 時間**］［**5 時間**］［**10 時間**］［**OFF**］
	電池設定［Battery］☞ P.96	［**ニッケル水素充電池**］［**アルカリ乾電池**］
	時計設定［Time & Date］☞ P.97	［**時**］［**分**］［**年**］［**月**］［**日**］
	設定リセット［Reset Settings］☞ P.100	メニュー設定（時計設定を除く）を初期設定に戻します。
	初期化［Format］☞ P.101	メモリを初期化します。
	メモリ情報［Memory Info.］☞ P.103	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報［System Info.］☞ P.104	［**モデル**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］

■ 録音動作中に設定できる項目：

バックライト

LED

■ 再生動作中に設定できる項目：

プロパティ

バックライト

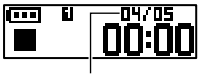
LED

ファイルメニュー［ファイル編集］

ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］

ファイルにロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。ロックがかかっているファイルは、フォルダ内のファイルを全消去しても消去されません（☞ P.44）。

1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ（☞ P.32、P.113）



この番号のファイルにロックをかけます

2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



3 **OK** ボタンを押す



4 ＋またはーボタンを押して［**ファイルロック**］を選ぶ



5 **OK** ボタンを押す

6 ＋またはーボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ファイルロックがかかります。

［**OFF**］：
ファイルロックが解除されます。

ファイルの誤消去を防止する［ファイルロック］

7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する



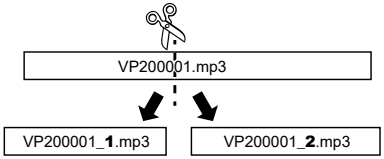
ファイルロック

ご注意

- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマーク（☞ P.38）を付けたり消去することができません。

ファイルを分割する［ファイル分割］

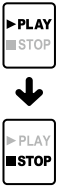
容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくできます。分割後に不要なファイルを消去すると、メモリを節約できます。



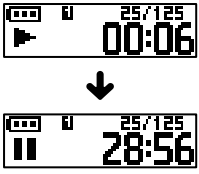
ご確認

- ファイル分割できるファイルは本機で録音した PCM 形式、MP3 形式のみです。

1 ファイルを再生して分割したい位置で停止させる

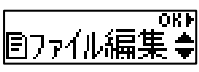


- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークを付けておくと便利です。



2 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す





3 **OK** ボタンを押す



4 **+**または**−**ボタンを押して［**ファイル分割**］を選び、**OK** ボタンを押す





ファイルを分割する［ファイル分割］

5 **+ボタンを押して［スタート］を選び、OK ボタンを押す**



- ディスプレイが［**分割中**］に変わり、ファイル分割を開始します。
［**分割完了**］と表示されたら終了です。

6 **▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する**

- 分割後のファイル名は、前半部分のファイルが「**ファイル名 _1**」、後半部分のファイルが「**ファイル名 _2**」となります。

ご注意

- フォルダ内のファイル件数がすでに 999 件ある場合は分割できません。
- ファイルロック（☞ P.53）がかかっているファイルは分割できません。
- リニア PCM（WAV）ファイルまたは MP3 ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの情報を見る［プロパティ］

メニュー画面からファイルの情報を確認できます。

1 情報を表示したいファイルを選ぶ
(☞ P.32、P.113)



2 停止中または再生中に **MENU/SCENE** ボタンを押す

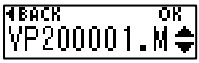


3 **OK** ボタンを押す

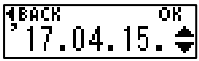
4 ＋またはーボタンを押して［**プロパティ**］を選び、**OK** ボタンを押す

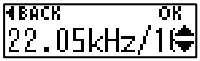


5 ＋またはーボタンを押して画面を切り替える









PCM 形式の場合

ヒント

- ＋またはーボタンを押すたびに［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］*1［**アーティスト**］*2［**アルバム**］*2 が表示されます。

*1 リニアPCM形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリングレートやビット数が表示されます。

*2 ファイルにタグ情報がない場合、［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。

ファイルの情報を見る［プロパティ］

6 

情報を確認したら **OK** ボタンを押す

7 

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

録音メニュー［録音設定］

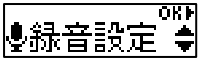
録音感度を選択する［録音レベル］

目的に合わせて内蔵マイクの録音感度を切り替えられます。

1 MENU SCENE 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



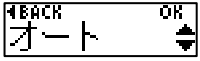
2 ＋または－ボタンを押して［**録音設定**］を選ぶ



3 OK **OK** ボタンを押す



4 OK 再度 **OK** ボタンを押す



5 ＋または－ボタンを押して録音レベルを選ぶ



［**オート**］：
入力された音量に追従して、録音レベルが自動的に変化します。音声全般を録音するときに適しています。

［**高（会議）**］：
録音感度が高く、講義や大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

［**低（メモ）**］：
録音感度が低く、口述録音などマイク近くの音の録音に適しています。

録音感度を選択する［録音レベル］

6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.31）。



録音レベル
オート：
高（会議）：H
低（メモ）：L

ヒント

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**録音レベル**］を［**低（メモ）**］に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

ご注意

- 録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を録音すると、ノイズが発生することがあります。

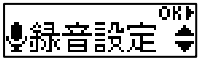
録音モードを設定する［録音モード］

高音質または録音可能時間を重視した録音モード（録音形式）が選べます。

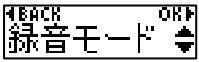
1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +/OK/− **＋**または**－**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +/OK/− **＋**または**－**ボタンを押して［**録音モード**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +/OK/− **＋**または**－**ボタンを押して録音モードを選ぶ



[PCM]
[MP3 128k ST]
[MP3 32k Mono] *
[MP3 8k Mono] *

高音質録音
長時間録音

* モノラル録音になります。

ヒント

- PCM 形式は圧縮などの処理が行われないため原音のまま録音できますが、ファイルサイズが大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］の設定を［**MP3 128k ST**］にして録音することをおすすめします。

録音モードを設定する［録音モード］

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.31）。



録音モード
PCM：PCM
MP3：128
MP3 32k：32
MP3 8k：8

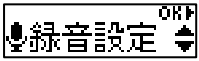
摩擦による雑音を軽減して録音する［擦れ音フィルタ］

ポケットに入れながら録音するときに、衣服との摩擦によるこすれ音（ガサガサ音）を軽減します。

1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



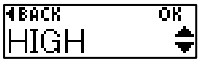
2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**擦れ音フィルタ**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**HIGH**］、［**LOW**］または［**OFF**］を選ぶ



［**HIGH**］［**LOW**］：
こすれ音（ガサガサ音）による雑音を軽減して録音します。

［**OFF**］：
こすれ音フィルタをオフにします。

5 OK　**OK** ボタンを押して設定を完了する

摩擦による雑音を軽減して録音する［擦れ音フィルタ］

6 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

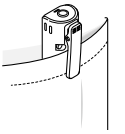


擦れ音フィルタ

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.31）。

ご注意

- ポケットなどに入れたまま録音する場合は、本体が動かないように本体のクリップを使って固定してください。



設定時間の経過後に録音を開始する［セルフタイマー］

設定した時間が経過すると録音を開始する機能です。録音までの時間をあらかじめ設定することで、録音のし忘れを防げます。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−

＋または**ー**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



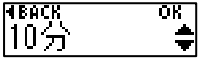
3 +OK−

＋または**ー**ボタンを押して［**セルフタイマー**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−

＋または**ー**ボタンを押して、録音を開始するまでの時間を選ぶ



［**3 分**］［**5 分**］［**10 分**］：
録音開始までの時間を設定します。

［**OFF**］：
セルフタイマーをオフにします。

5 OK

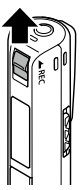
OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

設定時間の経過後に録音を開始する［セルフタイマー］

7



REC スイッチを矢印の方向にスライドさせるとセルフタイマーが始動します

- 録音を開始するまでの時間がカウントダウンで表示されます。



セルフタイマー

録音が始まるまでの時間

ノイズを軽減して録音する［ローカットフィルタ］

エアコンの空調音およびプロジェクターなどの作動音による雑音を軽減して録音できます。

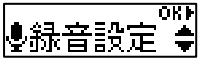
1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



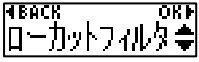
2 + OK −

+または**−**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 + OK −

+または**−**ボタンを押して［**ローカットフィルタ**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + ◀◀ OK ▶▶ −

+または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ローカットフィルタが機能します。

［**OFF**］：
ローカットフィルタをオフにします。

5 + ◀◀ OK ▶▶ −

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

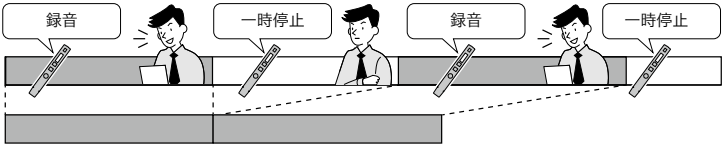


ローカットフィルタ

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.31）。

音声起動録音機能を使う［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することでメモリを節約できます。



1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**録音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**VCVA**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



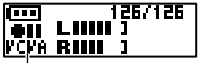
［**ON**］：
VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます（☞ P.69）。

［**OFF**］：
VCVA をオフにします。通常の録音に戻ります。

音声起動録音機能を使う［VCVA］

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

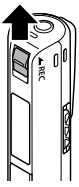
6 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する



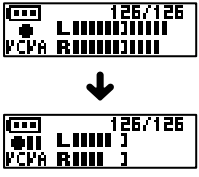
VCVA 録音時

音声起動レベルを調整して録音する

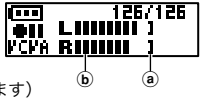
1 **REC** スイッチをスライドさせて、録音を開始する



- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音が一時停止します。
  録音起動中は LED 表示ランプが点灯し、一時停止中は点滅します。



2 **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押して音声起動レベルを調整する



ⓐ 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）
ⓑ レベルメーター（録音音量に合わせて変化します）

- ［**23**］段階で調整できます。

ヒント

- **I◀◀** ボタンを押すほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整してください。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

再生メニュー［再生設定］

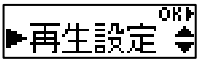
ノイズを軽減して再生する［ノイズキャンセル］

録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

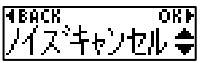
1 MENU SCENE 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 ＋または－ボタンを押して［**再生設定**］を選ぶ

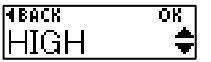


3 **OK** ボタンを押す



4 再度 **OK** ボタンを押す

5 ＋または－ ボタンを押して［**HIGH**］、［**LOW**］または［**OFF**］を選ぶ



［**HIGH**］［**LOW**］：
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

［**OFF**］：
ノイズキャンセルをオフにします。

6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

ノイズを軽減して再生する［ノイズキャンセル］

7 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.41）。



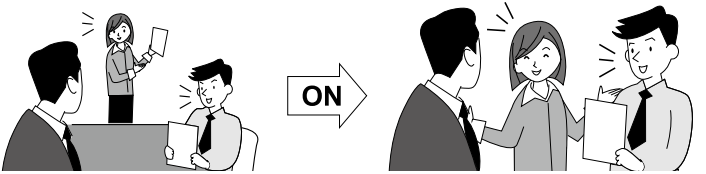
ノイズキャンセル

ご注意

- ［**ノイズキャンセル**］は［**レコーダー**］フォルダ内のファイルを選択しているときのみ機能します（☞ P.80）。
- ［**ノイズキャンセル**］機能を使用すると電池の消耗が早くなります。
- ［**ノイズキャンセル**］機能を使用すると再生スピード（☞ P.37）は変更できません。

小さい音を補正して再生する［ボイスバランサー］

録音した音声ファイルの音量が小さい部分を大きくなるように補正する機能です。
会話などの小さい音を大きく明瞭にします。



1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**ボイスバランサー**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +◀◀ OK ▶▶−　**+**または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
音声ファイルの小さい部分を大きくなるように補正して再生します。

［**OFF**］：
ボイスバランサーをオフにします。

小さい音を補正して再生する［ボイスバランサー］

5 **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する



ボイスバランサー

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.41）。

ご注意

- ［**ボイスバランサー**］は［**レコーダー**］フォルダ内のファイルを選択しているときのみ機能します（☞ P.80）。
- ［**ボイスバランサー**］機能を使用すると電池の消耗が早くなります。

ファイルを再生する範囲を指定する［再生範囲］

お好みに合わせてファイルを再生する範囲をお選びください。［**レコーダー**］および［**ミュージック**］の各フォルダごとに設定できます。

1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生範囲**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**レコーダー**］または［**ミュージック**］を選ぶ



［**レコーダー**］：
本機で録音したファイルを再生するときの再生範囲を設定します。

［**ミュージック**］：
パソコンから転送したファイルを再生するときの再生範囲を設定します。

5 OK　**OK** ボタンを押す

ファイルを再生する範囲を指定する［再生範囲］

6 **＋**または**－**ボタンを押して設定を選ぶ

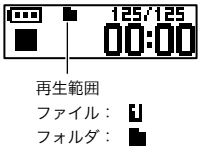


［**ファイル**］：
現在のファイルを再生後に停止します。

［**フォルダ**］：
現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する



ご注意

- ［**再生範囲**］を［**ファイル**］に設定するとフォルダ内の最終ファイルを再生後、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**再生範囲**］を［**フォルダ**］に設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

繰り返し再生する［リピート］

繰り返し再生のオンまたはオフが選べます。［**レコーダー**］および［**ミュージック**］の各フォルダごとに設定できます。

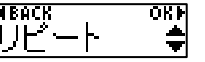
1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**リピート**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**レコーダー**］または［**ミュージック**］を選ぶ



［**レコーダー**］：
本機で録音したファイルの繰り返し再生を設定します。

［**ミュージック**］：
パソコンから転送したファイルの繰り返し再生を設定します。

5 OK　**OK** ボタンを押す

繰り返し再生する［リピート］

6 **+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ

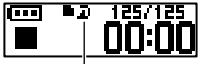


［**ON**］：
［**再生範囲**］（☞ P.74）で設定した範囲を繰り返し再生します。

［**OFF**］：
繰り返し再生をオフにします。

7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する



リピート

スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**スキップ**］または［**逆スキップ**］を選ぶ



［**スキップ**］：
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。

［**逆スキップ**］：
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

5 +OK−　**OK** ボタンを押す

6 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して設定を選ぶ



［スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］［**30 秒 スキップ**］［**5 分 スキップ**］

［逆スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］［**3 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］［**5 分 スキップ**］

スキップ間隔を設定する［スキップ間隔］

7 **OK** ボタンを押して設定を完了する

8 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

スキップ・逆スキップ再生のしかた

1 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して再生を開始する

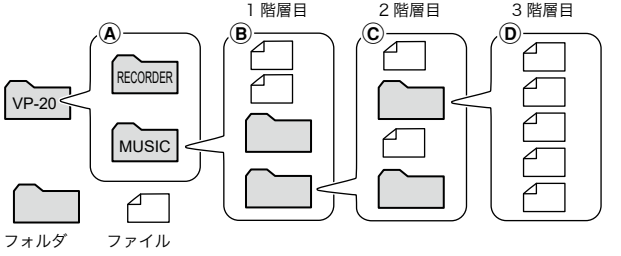


2 再生中に **▶▶I** または **I◀◀** ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

再生するフォルダを切り替える［再生フォルダ］

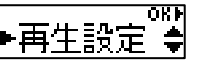
本機で録音したファイルが保管されている［**レコーダー**］フォルダ、またはパソコンから転送された音楽ファイルや語学学習ファイルが保管されている［**ミュージック**］フォルダに切り替えられます。
本機では、ミュージックフォルダ内の 2 階層目までのフォルダ（図 Ⓒ）を認識します。



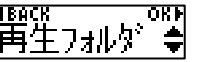
1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**再生フォルダ**］を選び、**OK** ボタンを押す



再生するフォルダを切り替える［再生フォルダ］

4 +またはーボタンを押して［**レコーダー**］または［**ミュージック**］を選ぶ（図 Ⓐ）



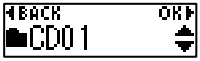
［**レコーダー**］：
本機で録音したファイルを再生する場合に選択します。
［**ミュージック**］：
パソコンから転送したファイルを再生する場合に選択します。

• I◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。

［レコーダー］を選んだ場合：手順 11 へ
［ミュージック］を選んだ場合：手順 5 へ

5 **OK** ボタンを押す

6 +またはーボタンを押してファイルまたはサブフォルダを選ぶ（図 Ⓑ）



サブフォルダを選んだ場合

• I◀◀ ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻ります。



ファイルを選んだ場合

ファイルを選んだ場合：手順 11 へ
サブフォルダを選んだ場合：手順 7 へ

再生するフォルダを切り替える［再生フォルダ］

7 

OK ボタンを押す

8 

＋またはーボタンを押してファイルまたはサブフォルダを選ぶ（図 Ⓒ）

ファイルを選んだ場合：手順 11 へ
サブフォルダを選んだ場合：手順 9 へ

9 

OK ボタンを押す

10 

＋またはーボタンを押してファイルを選ぶ

- 本機では 3 階層目（図 Ⓓ）にあるフォルダは認識しません。

11 

OK ボタンを押して設定を完了する

［ミュージック］選択時に点灯します。



表示／音メニュー［表示／音設定］

バックライトを設定する［バックライト］

ボタンの操作を行うとディスプレイのバックライトが設定した時間だけ点灯します。

1 MENU SCENE

録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



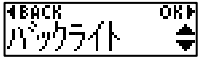
2 +/OK/− ボタン

＋または**－**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選ぶ



3 OK ボタン

OK ボタンを押す

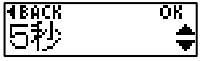


4 OK ボタン

再度 **OK** ボタンを押す

5 +/OK/− ボタン

＋または**－**ボタンを押して設定を選ぶ



［**5秒**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］：
バックライトの点灯時間を設定します。

［**OFF**］：
バックライトは点灯しません。

6 OK ボタン

OK ボタンを押して設定を完了する

7 ▶PLAY ■STOP ボタン

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

コントラストを調整する［コントラスト］

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



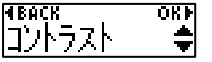
2 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**コントラスト**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + OK −

＋または**－**ボタンを押してレベルを調整する



- ［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。

5 OK

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶ PLAY ■ STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

LED 表示ランプを設定する［LED］

LED 表示ランプが点灯しないように設定できます。LED 表示ランプは録音時、充電時、パソコン間でのデータ転送時に点灯または点滅します。

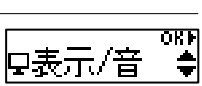
1 MENU SCENE

録音中、再生中または停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



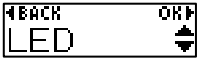
2 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**LED**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−

+または**−**ボタンを押して設定を変更する



［**ON**］：
LED 表示ランプが点灯します。

［**OFF**］：
LED 表示ランプは点灯しません。

- ［**LED**］の設定を［**OFF**］にしても、パソコン間でのデータ転送中は点滅します。

5 OK

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

操作音を設定する［操作音］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときに操作音が鳴ります。操作音は鳴らす、鳴らさないを選べます。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**操作音**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−

+または**−**ボタンを押して設定を変更する



［**ON**］：
操作音が鳴ります。

［**OFF**］：
操作音は鳴りません。

5 OK

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

表示言語を切り替える［言語選択 (Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**言語選択 (Lang)**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



5 OK　**OK** ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP　**▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるファイル名の言語は変わりません。

スピーカ出力を選択する［スピーカ出力］

イヤホンを接続していないときの内蔵スピーカのオン、オフを設定できます。［**OFF**］に設定すると誤ってイヤホンが本機から外れてもスピーカから音が出ないので、バスや電車の中でも安心です。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



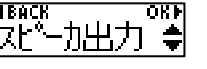
2 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**スピーカ出力**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
イヤホン接続中はイヤホンから音が出て、イヤホンを取り外すと内蔵スピーカから音が出ます。

［**OFF**］：
イヤホンを取り外しても内蔵スピーカからは音が出ません。

5 OK

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイルの先頭部分を数秒間再生する［イントロ再生］

［**日付検索**］機能（☞ P.42）を使ってファイルを選択するたびに、ファイルの先頭部分を 10 秒間自動的に再生します。ファイルの内容を確認できるので、ファイルを検索するときに便利です。あらかじめ、先頭部分に録音する内容を記録しておくと、あとで検索しやすくなります。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



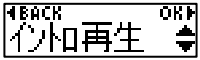
2 + OK −

+または**−**ボタンを押して［**表示／音設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 + OK −

+または**−**ボタンを押して［**イントロ再生**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + OK −

+または**−**ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ



［**ON**］：
ファイルを選択するたびにそのファイルの先頭部分を 10 秒間再生します。

［**OFF**］：
イントロ再生しません。

5 + OK −

OK ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体メニュー［本体設定］

マイク / イヤホンジャックの設定を切り替える［ジャック選択］

本機のジャックはマイクとイヤホンの兼用です。［**オート**］に設定すると、接続された機器が自動的に検出されます。

1 MENU SCENE **停止中に MENU/SCENE ボタンを押す**



2 + ⏮ OK ⏭ − **＋または－ボタンを押して［本体設定］を選ぶ**



3 + ⏮ OK ⏭ − **OK ボタンを押す**



4 + ⏮ OK ⏭ − **再度 OK ボタンを押す**

5 + ⏮ OK ⏭ − **＋または－ ボタンを押して［オート］、［マイク］または［イヤホン］を選ぶ**



［**オート**］:
接続された機器が外部マイクかイヤホンかを本機が自動で検出します。

［**マイク**］:
接続された機器をマイクとして認識します。

［**イヤホン**］:
接続された機器をイヤホンとして認識します。

ヒント

- マイク / イヤホンジャックに機器を接続すると、検出情報が表示されます。



マイク接続時

マイク / イヤホンジャックの設定を切り替える［ジャック選択］

6 **OK** ボタンを押して設定を完了する

7 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押して
メニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.41）。



ジャック選択
オート：接続された機器に応じてまたは が表示されます
マイク：
イヤホン：

ご注意

- 接続された機器によっては正しく検出されない場合があります。正しく検出しないときは［**マイク**］または［**イヤホン**］を選択してください

自動的に電源が切れるようにする［オートパワーオフ］

電源を入れて停止状態のまま設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



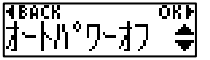
2 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 + OK −

＋または**－**ボタンを押して［**オートパワーオフ**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + OK −

＋または**－**ボタンを押して時間を設定する



［**5分**］［**10分**］［**15分**］［**30分**］：
お好みの時間を設定してください。

［**OFF**］：
オートパワーオフは機能しません。電源が切れないので、そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

5 + OK −

OK ボタンを押して設定を完了する

自動的に電源が切れるようにする［オートパワーオフ］

6 

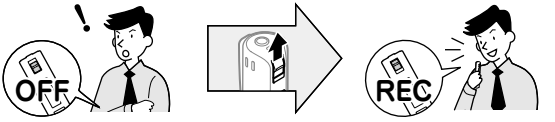
▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- ［**ソク録モード**］機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり、電池の消耗が早くなります。［**ソク録モード**］の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります（☞ P.94）。

録音待機の時間を設定する［ソク録モード］

電源を切ったあとでも録音待機時間内であれば瞬時に録音を始められます。



1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



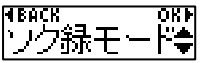
2 +/OK/−

+または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +/OK/−

+または**−**ボタンを押して［**ソク録モード**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +/OK/−

+または**−**ボタンを押して録音待機時間を設定する



［**1 時間**］［**3 時間**］［**5 時間**］］［**10 時間**］：
お好みの時間を設定してください。

［**OFF**］：
録音待機しません。

5 +/OK/−

OK ボタンを押して設定を完了する

録音待機の時間を設定する［ソク録モード］

6 

▶PLAY/■STOP ボタンを押して
メニュー画面を終了する

ご注意

- ［**ソク録モード**］機能が有効になっていると、電源が切れたあとも録音待機状態のままになり、電池の消耗が早くなります。［**ソク録モード**］の設定時間が過ぎると完全に電源が切れた状態になります。

使用する電池を設定する［電池設定］

現在使用している電池に合わせて設定してください。

1 MENU SCENE 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



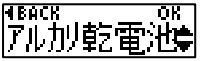
2 +OK− **+**または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK− **+**または**−**ボタンを押して［**電池設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK− **+**または**−**ボタンを押して設定を変更する



［**ニッケル水素充電池**］：
オリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）をご使用時にお選びください。

［**アルカリ乾電池**］：
アルカリ乾電池をご使用時にお選びください。

5 OK **OK** ボタンを押して設定を完了する

6 ▶PLAY ■STOP **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 画面表示を切り替えると、設定アイコンを確認できます（☞ P.41）。



使用中の電池の種類
ニッケル水素充電池：**Ni**
アルカリ乾電池：**AI**

日付・時刻を合わせる［時計設定］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。あらかじめ日付・時刻を合わせてください。
現在日時が合っていない場合、以下の手順で設定してください。

1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



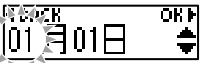
3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**時計設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



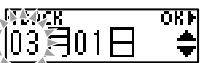
4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して数字を変更する



5 +OK−　**OK** ボタンを押す



6 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して数字を変更する



7 +OK−　**OK** ボタンを押す



8 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して数字を変更する



日付・時刻を合わせる［時計設定］

9 **OK** ボタンを押す



10 ＋またはーボタンを押して数字を変更する



11 **OK** ボタンを押す



12 ＋またはーボタンを押して数字を変更する



13 **OK** ボタンを押して設定を完了する

14 **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 日付表示の並び順を変えられます（☞ P.99）。

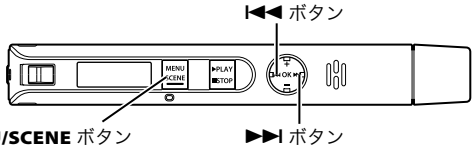
ご注意

- 長時間未使用でも電池が消耗すると、再び時計設定が必要になります。

日付・時刻を合わせる［時計設定］

日付表示の並び順を変更する

設定中に **MENU/SCENE** ボタンを押すと、日付表示の並び順を変更できます。



［年］の位置を変更するには

［年］の位置が［月 日］の前または後ろに切り替わります。

① 操作中に I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して［年］画面にする

② **MENU/SCENE** ボタンを押す

・［年］画面で **MENU/SCENE** ボタンを押すと［年］の位置が入れ替わります。

例：2020 年 3 月 24 日の場合

2020 年 3 月 24 日（初期値） ⟶ 3 月 24 日 2020 年

［年］画面



［月 日］の順番を変更するには

［月 日］または［日 月］に切り替えます。

① 操作中に I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して［月 日］画面にする

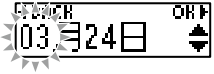
② **MENU/SCENE** ボタンを押す

・［月 日］または［日 月］画面で **MENU/SCENE** ボタンを押すたびに［月 日］の順番が切り替わります。

例：3 月 24 日の場合

3 月 24 日（初期値） ⟷ 24 日 3 月

［月 日］画面



設定をリセットする［設定リセット］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。時計設定やファイル番号はそのまま保持します。

1 

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 

+または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 

+または**−**ボタンを押して［**設定リセット**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 

+ボタンを押して［**スタート**］を選ぶ



5 

OK ボタンを押して設定を完了する

6 

▶PLAY/■STOP ボタンを押してメニュー画面を終了する

ヒント

- 設定リセット後の初期値は、［**メニューの一覧**］をご覧ください（☞ P.48 ～ P.52）。

初期化する［初期化］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

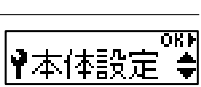
1 MENU SCENE

停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



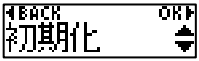
2 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す



3 +OK−

+または**−**ボタンを押して［**初期化**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−

+ボタンを押して［**スタート**］を選ぶ



5 +OK−

OK ボタンを押す



6 +OK−

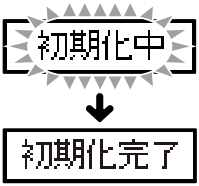
+ボタンを押してもう一度［**スタート**］を選ぶ



7 +OK−

OK ボタンを押す

- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が表示されたら初期化終了です。



初期化する［初期化］

ヒント

- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合は［**設定リセット**］を行ってください（☞ P.100）。

ご注意

- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化中に電池が切れることのないように充電するか、または新しい電池に交換してください。また、初期化が完了するまで数十秒かかる場合があります。初期化中には電池を取り外すことは絶対にしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 初期化や消去（☞ P.44）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

内蔵メモリの情報を確認する［メモリ情報］

メニュー画面から内蔵メモリの記録可能残量や容量を表示できます。

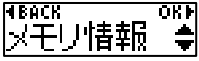
1 MENU SCENE　停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す

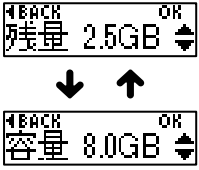


3 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して［**メモリ情報**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 +OK−　**+**または**−**ボタンを押して画面を切り替える

- 内蔵メモリの情報（［**残量**］［**容量**］）を表示します。



5 OK　情報を確認したら、**OK** ボタンを押して［**メモリ情報**］画面から出る

6 ▶PLAY ■STOP　**▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

本機の情報を確認する［システム情報］

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 MENU SCENE 停止中に **MENU/SCENE** ボタンを押す



2 + OK − **+**または**−**ボタンを押して［**本体設定**］を選び、**OK** ボタンを押す

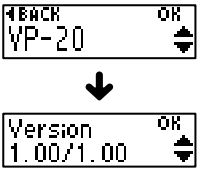


3 + OK − **+**または**−**ボタンを押して［**システム情報**］を選び、**OK** ボタンを押す



4 + OK − **+**または**−**ボタンを押して画面を切り替える

- 本機のシステム情報（［**モデル**］［**システムバージョン**］［**シリアルナンバー**］）を表示します。



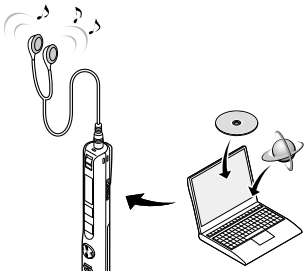
5 + OK − 情報を確認したら、**OK** ボタンを押して［**システム情報**］画面から出る

6 ▶ PLAY ■ STOP **▶PLAY/■STOP** ボタンを押してメニュー画面を終了する

パソコンでの活用について

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- パソコンに取り込んだ MP3・リニア PCM（WAV）形式の語学学習ファイルや音楽ファイルを、本機でお楽しみいただけます（☞ P.113）。
- 本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご活用いただけます（☞ P.112）。



イヤホンは付属していません。

パソコンの動作環境

本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。

Windows

OS（オペレーティングシステム）：

Microsoft Windows 8.1 ／ Windows 10

標準インストール（日本語版）

対応パソコン：

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows パソコン

・動作環境を満たしていても、アップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコンとその互換機については動作保証外とさせていただきます。

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）：

OS X v10.10 - v10.11, macOS v10.12 - v10.14

標準インストール（日本語版）

対応パソコン：

1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

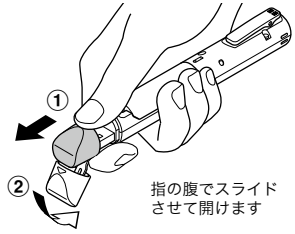
- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中です。決して USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.109 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］メニューから行ってください（☞ P.101）。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、イヤホンを取り外してください。

パソコンに接続する／取り外す

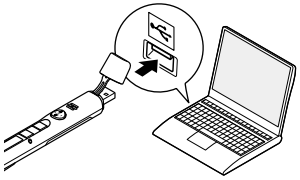
パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 本機の USB 端子カバーを外す



3 本機が停止していることを確認し、パソコンの USB ポートに接続する

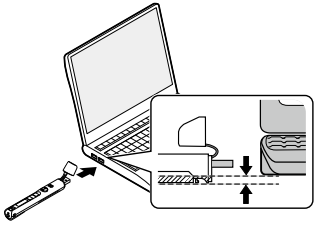


- ニッケル水素充電池を充電する場合は **OK** ボタンを、充電しない場合は **OK** 以外のボタンを押してください。
- 充電しながらファイルの転送ができます。
- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC 接続中**］と表示されます。

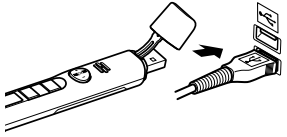
ご注意

- ご使用のパソコンが以下のような場合は、付属の USB 延長ケーブルを使用してください。

パソコンの底面よりも本機が低くなる場合



USB ポートの間隔が狭い場合



- 無理な接続はおやめください。データの転送が正しく行われない場合があるだけでなく、本体が破損するおそれがあります。

パソコンに接続する

ヒント

- Windows の場合、[**コンピュータ**] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 必要に応じ、付属の USB 延長ケーブルをご使用ください。

ご注意

- USB 端子は奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 延長ケーブルは必ず専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用の場合、動作の保証はできません。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの［ ］をクリックして、［**DIGITAL VOICE RECORDER の取り出し**］をクリックする

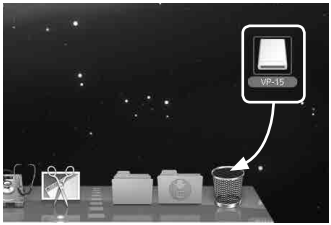


- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する



2 本機の LED 表示ランプが点滅していないことを確認し、本機をパソコンから取り外す

ヒント

- 充電が途中でも本機を取り外して使用できます。

ご注意

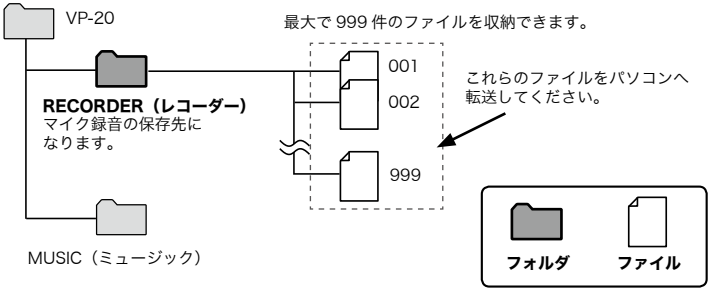
- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

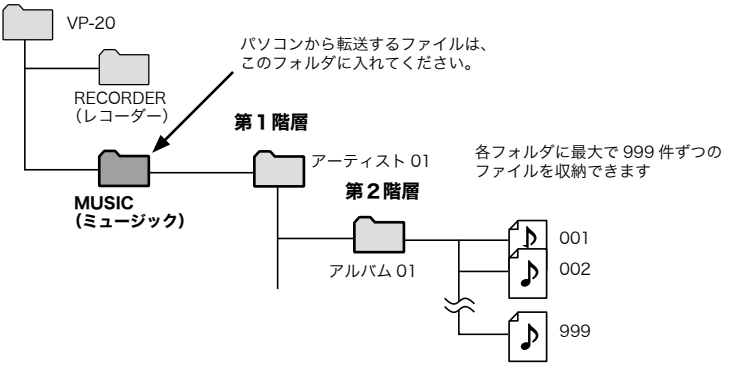
本機で録音したファイルは、パソコン上では［**RECORDER**］という名前のフォルダの中に保存されています。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

本機で録音したファイルをパソコンに転送する



音楽ファイルや語学学習ファイルを転送する



ヒント

- ［**ミュージック**］フォルダには、［**ミュージック**］を含めて最大 130 フォルダまで作成できます。
- 本機では 3 階層目のフォルダは認識できません。

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンの外部メモリとして使う

本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.107)

2 エクスプローラを起動する

- [**コンピュータ**] を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.109)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.107)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.109)

ご注意

- データ通信中は LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

パソコンから転送したファイルを聞く

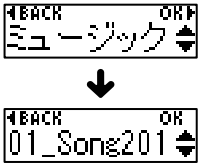
パソコンから転送された音楽ファイルや語学学習ファイルなどをお楽しみいただけます。

ご注意

- あらかじめ本機をパソコンに接続して、本機の［**ミュージック**］フォルダに音楽ファイルおよび語学学習ファイルを転送してください（☞ P.110）。
- 本機は［**ミュージック**］フォルダ内の 3 階層目にあるフォルダは認識できません。

1 再生するファイルを選ぶ

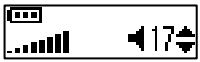
・メニュー機能の［**再生フォルダ**］機能を使って［**ミュージック**］フォルダに切り替えたあと、ファイルを選択します（☞ P.80）。



2 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を開始する



3 ＋またはーボタンを押して聞きやすい音量にする



4 ▶PLAY/■STOP ボタンを押して再生を停止する

再生可能なファイルについて

本機で再生できるファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは以下のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビット数および ビットレート
リニア PCM（WAV）形式	22.05 kHz、44.1 kHz	16 bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**： 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

活用のヒント

本機を上手にお使いいただくために、便利な使いかたをご紹介します。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

試し録りについて

録音の対象となる人との距離および声量、空間の広さ、空調機の付近での使用など…。「音の品質」は録音環境によって変わります。事前に雑音（ノイズ）を減らして希望通りの音で録音できるかを確認するため、試し録りはとても有効です。

エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音、机上のモノを動かしたときの音や振動、机の脚から伝わる足音などの雑音（ノイズ）は、聞こえる音よりも大きく録音されてしまうことがあります。



録音されるノイズを軽減するには

- 録音中に本機に触れると、タッチノイズとして録音されてしまう場合があります。録音が終わるまでは、なるべく本機に触れないようにしてください。
- 空調の通風口やパソコンなど、ノイズの原因となっている対象から本機を遠ざけてください。
- ノイズが気になる場合は、［**録音モード**］の設定を［**MP3 128k ST**］に設定することをおすすめします（☞ P.61）。
- 状況に応じた［**録音レベル**］を選んでください。周囲の音がノイズとなって聞きづらい場合は、［**低（メモ）**］でお試しください（☞ P.59）。
- 状況に合わせた［**録音シーン**］を選ぶと、録音モードや内蔵マイクの感度など、録音に必要な項目を一括でおすすめの設定に切り替えられます（☞ P.28）。

■ 電池を長持ちさせたい

☞［**バックライト**］機能の点灯時間を短くしてください（☞ P.83）。

☞［**オートパワーオフ**］機能の設定時間を短くしてください（☞ P.92）。

☞［**ソク録モード**］機能を［**OFF**］にしてください（☞ P.94）。

☞ 使用しないときはこまめに電源を切ってください（☞ P.24）。

☞ 再生時は内蔵スピーカでなく市販のイヤホンをお使いください（☞ P.35）。

☞ 以下の機能を使用すると電池の持続時間に影響をおよぼします。
・［**ノイズキャンセル**］（☞ P.70）
・録音モニター（☞ P.27）
・再生速度の変更（☞ P.37）
・［**再生シーン**］（☞ P.36）
・［**ボイスバランサー**］（☞ P.72）

■ メモリを節約したい

☞［**VCVA**］機能をお使いください（☞ P.68）。
録音中に設定した音量以下になると録音一時停止します。設定した音量以上になると自動的に録音を再開します。

■ 録音した内容が早い口調で聞き取れない
録音した内容を全部聞きたいが、時間を節約したい

☞ 再生スピード機能をお使いください（☞ P.37）。
再生速度を通常の半分のスピードまで遅くしたり、2 倍のスピードまで早くして聞けます。

■ 大事なポイントをあとでもう一度聞きたい

☞ インデックス（テンプ）マーク機能をお使いください（☞ P.38）。
録音中、再生中、停止中にインデックス（テンプ）マークを付けておくと、あらためて再生したときに早送りや早戻し、頭出し機能を使ってインデックス（テンプ）マークを付けた場所をすぐに探せます。

■ この部分より前または後ろは必要ないから消したい

☞［**ファイル分割**］機能および［**ファイル消去**］機能をお使いください（☞ P.55、P.44）。
停止している位置でファイルを分割します。あとは不要なファイルを削除してください。

■ 録音したファイルに雑音があって聞きにくい

☞［**ノイズキャンセル**］機能をお使いください（☞ P.70）。
雑音を抑えて、よりクリアに再生します。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量少 (Battery Low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.4、P.19）。
ファイルロック (File Locked)	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.53）。
インデックス フル (Index Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（99）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください（☞ P.38）。
テンプマーク フル (Temp Full)	ファイル内でテンプマークを最大数（99）まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください（☞ P.38）。
ファイル フル (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（999）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.44）。
メモリ フル (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.44）。
メモリ異常 (Mem. Error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ 裏表紙）。
No File (No File)	フォルダ内にファイルがない。	録音するか、他のフォルダを選び直してください（☞ P.25、P.80）。
	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.32、P.113）。
初期化失敗 (Format Err)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.101）。
管理ファイルエラー (Sysfile Err)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
再生エラー (Cannot Play)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください（☞ P.114）。
ファイルエラー (File Error)	本機で録音した MP3 形式、リニア PCM（WAV）形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
位置エラー (Pos Error)	分割できない位置で分割しようとしている。	分割後、極端に短いファイルになる場合は分割できないことがあります (☞ P.55)。
ノイズキャンセルオフ (Noise Off)	[**ノイズキャンセル**] の設定が有効になっている。	[**ノイズキャンセル**] の設定が自動的に [**OFF**] になります (☞ P.70)。
シーン解除 (Scene Off)	[**録音シーン**] または [**再生シーン**] の設定が有効になっている。	[**録音シーン**] または [**再生シーン**] の設定が自動的に [**OFF**] になります (☞ P.28、P.36)。
1.0 倍速 (x 1.0 Play)	再生スピードが通常再生以外に変更されている。	再生スピードが自動的に [**1.0 倍速**] になります (☞ P.37)。
電源異常 (Power Error)	バスパワーに異常がある。	USB 接続を解除してください。
充電不可 ( ) (can't charge)	単４形アルカリ乾電池または指定外の充電式電池を充電しようとしている。	オリンパス製ニッケル水素充電池 (BR404) をご使用ください。
充電不可 _2 ( ) (can't charge_2)	バスパワーに異常がある。	USB 接続を解除してください。

故障かな?と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.4）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.4、P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.6）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.4、P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.6）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.40）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.44）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	
外部マイクで録音できない	マイク / イヤホンジャックに差し込んだマイクが正常に検出されていない。	［**ジャック選択**］の設定を［**マイク**］にしてください（☞ P.90）。
	［**ジャック選択**］の設定が［**イヤホン**］になっている。	
本機から再生音が聞こえない	マイク / イヤホンジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカから出力する場合、イヤホンを取り外してください。
	［**スピーカ出力**］の設定が［**OFF**］になっている。	内蔵スピーカから出力する場合、［**スピーカ出力**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.88）。
	音量が［**00**］になっている。	音量を調節してください（☞ P.32）。
イヤホンから再生音が聞こえない	マイク / イヤホンジャックに差し込んだイヤホンが正常に検出されていない。	［**ジャック選択**］の設定を［**イヤホン**］にしてください（☞ P.90）。
	［**ジャック選択**］の設定が［**マイク**］になっている。	
	音量が［**00**］になっている。	音量を調節してください（☞ P.32）。

症状	考えられる原因	対処方法
録音のレベルが小さい	［**録音レベル**］の設定が［**低（メモ）**］になっている。	録音レベルの設定を［**高（会議）**］にしてもう一度録音してください（☞ P.59）。
	録音対象との距離が離れている。	録音対象に近づけてください。
音声ファイルの音が歪む	録音レベルは自動的に調整されますが、あまりにも大きな音を録音すると、ノイズが発生することがあります。	録音対象との距離を離して録音してください。
音声ファイルがステレオ録音されていない	［**録音モード**］の設定が MP3 32k Mono または MP3 8k Mono 形式である。	［**録音モード**］の設定を［**PCM**］または［**MP3 128k ST**］にしてください（☞ P.61）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	録音中はできるだけ本機に触れないようにしてください。
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.53）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンのご使用をおすすめします（☞ P.27）。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプマークが付けられない	マーク件数が最大（99 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.38）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.53）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。

症状	考えられる原因	対処方法
充電ができない	［**電池設定**］の設定が［**アルカリ乾電池**］になっている。	付属の充電池をご使用の上、電池設定を［**ニッケル水素充電池**］にしてください。また、充電池の推奨温度範囲外でのご使用はおやめください (☞ P.7、P.23、P.96)。
	OK ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、**OK** ボタンを押してください。
ボタン動作がおかしい	［**再生シーン**］の設定が有効になっている。	［**再生シーン**］の設定を［**OFF**］にしてください (☞ P.36)。
再生スピードが速い（遅い）	再生スピードが変更されている。	再生スピードの設定を［**x1.0**］にしてください (☞ P.37)。
各ファイルを続けて再生できない	［**再生範囲**］の設定が［**ファイル**］になっている。	［**再生範囲**］の設定を［**フォルダ**］にしてください (☞ P.74)。
	［**リピート**］の設定が［**ON**］になっている。	［**リピート**］の設定を［**OFF**］にしてください (☞ P.76)。
再生中に次または一つ前のファイルへ頭出しできない	［**再生範囲**］の設定が［**ファイル**］になっている。	［**再生範囲**］の設定［**フォルダ**］にしてください (☞ P.74)。
	［**リピート**］の設定が［**ON**］になっている。	［**リピート**］の設定を［**OFF**］にしてください (☞ P.76)。
	［**スキップ間隔**］の設定が［**ファイルスキップ**］以外になっている。	［**スキップ間隔**］の設定を［**ファイルスキップ**］にしてください (☞ P.78)。
［日付検索］のときにファイルを切り替えると自動的に再生が始まる	［**イントロ再生**］の設定が［**ON**］になっている。	［**イントロ再生**］の設定を［**OFF**］にしてください (☞ P.89)。

その他

お手入れ

- 本機が汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取り、そのあと、乾いた布でよく拭いてください。
- ディスプレイが汚れたときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。

ご注意

- ベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾は使わないでください。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。

単 4 形ニッケル水素充電池：BR404

持続性に優れた高性能充電池です。

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

卓上ズームマイクロホン（単一指向性）：ME34

マイクスタンドと一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

バウンダリーマイクロホン：ME33

左右それぞれに最大 3 台づつ接続可能な会議録音用マイクです。
カスケード接続すれば左右合わせて最大約 12m まで延長できますので、広い範囲の音を録音できます。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

広い会議室などの録音に適したローノイズ設計の全指向性マイクで、左右それぞれのマイクを最大約 5m 離して録音できます。

テレホンピックアップマイクロホン：TP8

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をマイク入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

USB 接続 AC アダプタ：F-5AC

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V　50/60Hz）

商標について

- 本書の内容は将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用しているディスプレイや本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社が所有しております。本書の内容の一部または全部を無断で複写することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

接続ケーブルは、必ず当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI 協会の技術基準を超えることが考えられます。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの内容をお読みのうえ、正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機について

⚠ 警告

●可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。

引火、爆発の原因となります。

●分解、修理、改造をしないでください。

感電、けがをするおそれがあります。

●車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。

交通事故などの原因となります。

●本機を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。

幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に本機から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができず、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば

- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

●水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

①速やかに電池を抜いてください。

②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

●航空機内や病院など使用に制限のある場所では使用をおやめになるか、その場所の指示に従ってください。

●異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときはご使用を中止してください。

火災ややけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

⚠ 注意

●操作前から、音量を上げないでください。

聴覚障害や聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

●火気のある場所に電池を置かないでください。

●火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。

火災、破裂、発火、発熱の原因となります。

●直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。

●⊕と⊖端子を接続しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

●電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。

発熱、感電、火災の原因となります。

●電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

●直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置をしないでください。

液漏れ、発熱、破裂などにより、火災、やけど、けがの原因となります。

⚠ 警告

●濡れた手で触ったり持ったりしないでください。

感電、故障の原因となります。

●外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。

破裂、発熱の原因となります。

●電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。

液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。

- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出してください。

- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

●電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。

●充電できないアルカリ乾電池、リチウム乾電池などを充電しないでください。

●電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

幼児・子供が電池を飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

●万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

①けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
②お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災ややけどの原因となります。

●水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

●液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。

●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

●電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

●電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

●充電池をはじめて使用する場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用前に必ず充電してください。

●充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

●使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と⊖端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。

Ni-MH

詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ（https://www.jbrc.com）をご覧ください。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 録音中や再生中に本機を電灯線・蛍光灯・携帯電話などに近づけないでください。ノイズが入ることがあります。
- 本製品を購入した国・地域以外での使用については、その国・地域の規則に違反する恐れがありますので、当社では一切の責任は負えません。

＜データ消失に関する注意事項＞

- 内蔵メモリへの記録内容は、誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。
- 内蔵メモリは長時間の保存や繰り返し使用するうちに書き込みや読み出し、消去等ができなくなることがあります。
- 大切な記録内容はパソコンのハードディスクや他の記録メディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 記録されたデータの破壊・消失による損害および逸失利益などに関しては、その内容や原因に関わらず、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

＜本機の譲渡や廃棄に関する注意事項＞

- 初期化（☞ P.101）や消去（☞ P.44）を行っても、ファイルの管理情報が更新されるだけで内蔵メモリに記録したデータは完全には消去されません。譲渡または廃棄の際には、初期化したあと、残り時間がなくなるまで無音録音するなどして、個人情報の流出を防いでください。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
リニア PCM（Pulse Code Modulation）形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式
MP3（MPEG-2 Audio Layer3）形式
MP3（MPEG-2.5 Audio Layer3）形式

■ **サンプリング周波数：**
リニア PCM 形式

22.05 kHz/16 bit	22.05 kHz

MP3 形式

128 kbps	44.1 kHz
32 kbps mono	22.05 kHz
8 kbps mono	11.025 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW + 3 mW (16 Ω負荷時)

■ **記録媒体 *：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ：8 GB
* メモリ容量の一部を管理領域として使用しているため、実際に使用できる容量は少なくなります。

■ **スピーカ：**
φ10 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイク / イヤホンジャック：**
マイク：φ3.5 mm 入力インピーダンス 2 k Ω
イヤホン：φ3.5 mm イヤホンインピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
90 mW (スピーカ 8 Ω)

■ **電源：**
規定電圧：1.5 V
電　　池：単4形乾電池1本 (LR03) またはオリンパス製ニッケル水素充電池1本 (本体内充電はオリンパス製 BR404 を使用のこと)

■ **外形寸法：**
17 mm × 130 mm × 17 mm
(最大突起部含まず)

■ **質量：**
37.5 g (電池含む)

■ **使用温度：**
0 ～ 42°C

■ **同梱品：**
本体／単 4 形ニッケル水素充電池× 1 ／ USB 延長ケーブル (KP19) × 1 ／ 取扱説明書 (保証書付)

周波数特性

■ **マイクジャック録音時：**
リニア PCM 形式

22.05 kHz/16 bit	40 Hz ～ 10 kHz

MP3 形式

128 kbps	40 Hz ～ 17 kHz
32 kbps mono	40 Hz ～ 7 kHz
8 kbps mono	40 Hz ～ 3 kHz

■ **内蔵ステレオマイク録音時：**
50Hz ～ 17kHz
(但し、周波数特性の上限値は各録音モードによる)

■ **再生時：**
20 Hz ～ 20 kHz
(但し、周波数特性の上限値・下限値は各録音フォーマットによる)

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ 内蔵ステレオマイク録音時（内蔵メモリ使用時）：

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 24 時間	約 19 時間
MP3 形式	128 kbps	約 27 時間 30 分	約 21 時間
	32 kbps mono	約 40 時間	約 27 時間 30 分
	8 kbps mono	約 50 時間	約 34 時間

■ 音声ファイル再生時（全再生モード）：

スピーカ再生時

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 21 時間	約 16 時間
MP3 形式	128 kbps	約 26 時間	約 18 時間
	32 kbps mono	約 26 時間 30 分	約 19 時間
	8 kbps mono	約 27 時間 30 分	約 20 時間

イヤホン再生時

録音モード		電池持続時間	
		アルカリ乾電池	ニッケル水素充電池
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 24 時間 30 分	約 17 時間 30 分
MP3 形式	128 kbps	約 34 時間 30 分	約 22 時間
	32 kbps mono	約 35 時間	約 22 時間 30 分
	8 kbps mono	約 36 時間	約 23 時間 30 分

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです（LED 表示ランプ：OFF）。使用電池、使用条件により大きく変わります（特にノイズキャンセル、ボイスバランサー、再生シーン、再生速度、ソク録モード等の機能を使用した場合は電池持続時間に大きく影響します）。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音モード		内蔵メモリ（8GB）
リニア PCM 形式	22.05kHz/16 bit	約 23 時間 30 分

■ MP3 形式：

録音モード		内蔵メモリ（8GB）
MP3 形式	128 kbps	約 130 時間
	32 kbps mono	約 525 時間
	8 kbps mono	約 2100 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、MP3 形式は約 4GB、リニア PCM（WAV）形式は約 2GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は以下の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード		録音時間
リニア PCM 形式	22.05 kHz/16 bit	約 6 時間 40 分

■ MP3 形式：

録音モード		録音時間
MP3 形式	128 kbps	約 74 時間 30 分
	32 kbps mono	約 298 時間
	8 kbps mono	約 1193 時間

記録可能な曲数

以下の値はあくまでめやすです。

8GB	約 1900 曲

128 kbps、1 曲 4 分換算

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

▶PLAY/■STOP ボタン 11, 16, 37, 46
＋ーボタン 7, 11, 16, 37, 46
I◀◀ ▶▶I ボタン 12, 16, 33, 46, 99

アルファベット

L

LED 85
LED 表示ランプ 10, 16, 21, 85, 109

M

MENU/SCENE ボタン 12, 16, 28, 36, 42, 46, 99
MP3 ..... 61, 114

O

OK ボタン 7, 16, 31, 38, 41, 46

P

POWER/HOLD スイッチ 6, 16, 24, 40

R

REC スイッチ 10, 16

U

USB 延長ケーブル 20, 107
USB 接続 AC アダプタ 22
USB 端子 16, 20
USB 端子カバー 16, 20

V

VCVA 68

W

WAV 61, 114

かな

い

インデックスマーク 38
イントロ再生 89

お

オートパワーオフ 24, 92
音楽ファイル 114
音声起動レベル 69
音声起動録音 68

か

カーソル 18
外部マイク 29
外部メモリ 112

く

クリップ 16, 64

け

言語選択 87

こ

擦れ音フィルタ 63
コネクティングコード 30
コントラスト 84

さ

再生シーン 36
再生スピード 37
再生設定 70
再生範囲 74
再生フォルダ 80

し

システム情報 104
ジャック選択 90
充電 20, 22, 23
初期化 101
シリアルナンバー 5, 104

す
スキップ間隔 78
スピーカ出力 88

せ
設定リセット 100
セルフタイマー 65

そ
操作音 86
ソク録モード 94

て
ディスプレイ 16, 17, 122
電池カバー 4, 16
電池設定 7, 96
電池表示 17, 19
テンプマーク 38

と
動作環境 105
時計設定 8, 97

な
内蔵ステレオマイク 10, 16
内蔵スピーカ 16, 88

の
ノイズキャンセル 70

は
バックライト 83

ひ
日付検索 42
表示／音設定 83

ふ
ファイル 80, 110
ファイル消去 12, 44
ファイル分割 55
ファイル編集 53
ファイルロック 53
フォルダ 80, 110
プロパティ 57

ほ
ホールド 40
ボイスバランサー 72
本体設定 90

ま
マイク / イヤホンジャック 16, 27, 29, 35

み
ミュージックフォルダ 80, 113

め
メニュー設定 46
メモリ情報 103

り
リニア PCM 61, 114
リピート 76

れ
レコーダーフォルダ 80

ろ
ローカットフィルタ 67
録音シーン 28
録音設定 59
録音モード 61
録音レベル 59

発行日：2020.01

OLYMPUS

オリンパス株式会社

● インターネットでの情報入手

https://olympus-imaging.jp/

製品仕様、パソコン接続、OS 対応、Q&A などの各種最新情報は、
オリンパスホームページで簡単にご確認いただけます。
上記 URL より［サポート / ダウンロード］のページへお進みください。

● 電話でのお問合せ（オリンパスカスタマーサポートセンター）

ナビダイヤル®

0570-073-000

＊携帯電話・PHS からもご利用になれます。

FAX 042-642-7486

＊調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

営業時間：平日および土曜・日曜・祝日 9:30 ～ 18:00
＊年末年始、システムメンテナンス日はお休みさせていただきます。

※記載内容は変更されることがあります。

© 2019 OLYMPUS CORPORATION

BS202700